

ナデシコプラン2022

(令和4年度名東区区政運営方針)

【事業シート集】

令和4年5月

名古屋市名東区役所

Ⅰ はじめに



1 中長期計画「名東区将来ビジョン」

名東区将来ビジョンは、区を取り巻く社会状況の変化を踏まえ、めざすべき区の姿を明らかにし、その実現に向けた中長期の取り組みを体系化するものです。名古屋市総合計画2023と整合性を図りながら、区における独自施策や区で展開する市の各局施策のうち区の特徴を生かした施策をまとめ、区における個別計画として策定します。また、名東区の花であるナデシコを、区への愛着を示すシンボルとして普及する意味を含め、「ナデシコビジョン」という愛称で呼びます。

計画期間は、令和2（2020）年度から令和5（2023）年度までの4か年計画とします。

2 名東区区政運営方針の位置づけ

ナデシコプラン（名東区区政運営方針）は、中長期の取り組みを体系化した名東区将来ビジョンを踏まえ、各年度の目標や重点的な取り組みを明確にしたものです。

また、名東区将来ビジョンに掲げた施策の成果指標について、ナデシコプランで進捗管理を行います。

区将来ビジョン

2020 – 2023

区政運営方針

2020

2021

2022

2023

3 基本理念

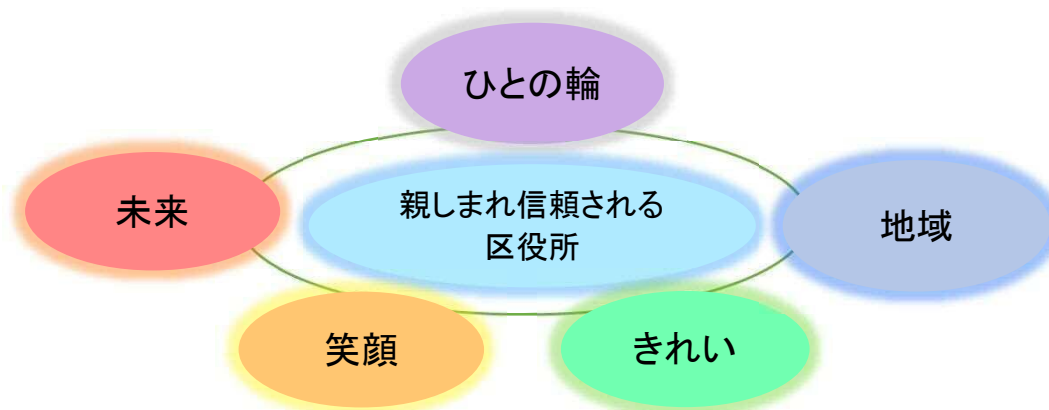
「つながるまち、ひろがるまち名東」

名東区では平成19（2007）年に公表された「区役所改革基本計画」を受け、平成20（2008）年度から毎年度「ナデシコプラン（区政運営方針）」を策定し、区民の皆さまとともに多様な施策を展開してまいりました。

プランでは『つながるまち、ひろがるまち名東』を理念として掲げ、「人と人のつながり」を起点に地域の輪を広げ、まちの活気につなげるという考えに立ったまちづくりを進めるとともに、より広く理解や協力を得られるよう、理念の普及・浸透をめざして取り組んでまいりました。

今後、少子化・高齢化がさらに進行し、多様化・複雑化する社会経済環境下にある中で、名東区が持続的に発展していくためには、人と人がつながり、絆を深め、地域社会の中でみんなが互いに支え合うことがより大切になってきております。

このビジョンの基本理念は、引き続き『つながるまち、ひろがるまち名東』とし、人のつながりによって生まれた輪が、地域の大きな力となり、まちの活気につながるよう、人の絆を大切にしたいまちづくりを進めます。



II 概要



1 将来ビジョンに掲げる成果指標の進捗状況について

将来ビジョンの成果指標について、令和5年の目標値の達成に向けて、各年度の実績値がどのような進捗状況にあるかを、☆の数で示しています。

成果指標	進捗状況	基準
	☆☆☆☆	各年度の基準値を達成しているもの (各年度の実績値－計画策定時の値)／各年度の基準値 ≥ 100%
	☆☆☆	各年度の基準値の50%以上100%未満のもの 100% > (各年度の実績値－計画策定時の値)／各年度の基準値 ≥ 50%
	☆☆	計画策定時の値以上であり、各年度の基準値の50%未満のもの 50% > (各年度の実績値－計画策定時の値)／各年度の基準値 ≥ 0%
	☆	計画策定時の値を下回っているもの 0% > (各年度の実績値－計画策定時の値)／各年度の基準値

(注) 原則として、計画策定時の値と令和5年度の目標値との直線補間により、各年度の基準値(計画策定時との差分)を算出し、上表のとおり判定しています。

※ 各年度の基準値＝(令和5年度の目標値－計画策定時の値) × (経過年数／4)

＜将来ビジョンに掲載している16指標の進捗状況＞

将来像等	進捗状況別指標数				
	☆☆☆☆	☆☆☆	☆☆	☆	合計
将来像1 未来につながる 子育てしやすいまち	1	0	0	2(2)	3(2)
将来像2 ひとの輪がひろがる 助けあいのまち	2	0	1	0	3
将来像3 地域がつながる 安心・安全なまち	2	1	0	0	3
将来像4 きれいがひろがる 快適な環境のまち	3	0	0	0	3
将来像5 笑顔がひろがる 魅力と交流のまち	1(1)	0	0	1	2(1)
区役所づくり 親しまれ信頼される 区役所をめざして	0	0	0	2	2
合 計	9(1)	1	1	5(2)	16(3)

※表中のかっこ書きは、新型コロナウイルスの影響で調査対象者をやむなく変更するなど、ビジョン策定時とは異なる調査手法による「参考値」を示しています(内数)。

2 区政運営方針に掲載している事業の目標達成状況について

目標に対する達成状況については、事業担当課の自己評価を踏まえ、区長以下区役所全体で次のA～Dで評価を行い決定しました。

ただし、複数の目標を掲げた取り組みについては総合的に判断し、具体的な目標を設定していない取り組みについては事業等の実施状況により判断しました。

実施事業	目標達成状況	基 準
	A	目標値の95%以上、または期間内に実施
	B	目標値の80%以上、または3か月以内に実施
	C	目標値の50%以上、または4か月以上遅れて年度内実施
	D	目標値の50%未満、または未実施

＜区政運営方針に掲載している78事業の令和3年度目標達成状況＞

将来像等	目標達成状況別事業数				
	A	B	C	D	合計
将来像1 未来につながる 子育てしやすいまち	9	0	3	3	15
将来像2 ひとの輪がひろがる 助けあいのまち	9	1	2	7	19
将来像3 地域がつながる 安心・安全なまち	9	1	2	4	16
将来像4 きれいがひろがる 快適な環境のまち	8	1	1	4	14
将来像5 笑顔がひろがる 魅力と交流のまち	3	1	0	6	10
区役所づくり 親しまれ信頼される 区役所をめざして	3	0	0	0	3
合 計	41	4	8	24	77

令和3年度の目標達成状況の評価では、区民まつり等の人が集まる・人とふれ合うことが想定される事業の目標が達成できていない傾向が顕著に見受けられました。

これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業自体が中止、もしくは規模縮小となったことが要因だと考えられます。

本プランでは、当初計画事業を中止としたときは「未実施」として評価(=「D」評価)し、代替事業を実施した場合については、その内容を掲載することとしています。

Ⅲ 令和4年度区政運営方針事業シート

将来像1	未来につながる 子育てしやすいまち	6
(1)地域で安心して子育てができる環境づくりを進めます		7
1	子育て支援応援事業	7
2	出張保育相談窓口の増設	7
3	のびのび子育てをあなたがサポート	8
4	パパママの生の声を聴こう！	8
5	子育てふれあい広場の開催	9
6	子育てミニ広場の開催	9
7	子育てサロンの支援	10
8	子育て支援情報の充実	10
(2)子どもや青少年が地域で健やかに成長できる環境づくりを進めます		11
9	絵本でつながる親子の時間	11
10	健診時の絵本読み聞かせ	11
11	ジュニアスポーツの支援	12
12	青少年の健全育成を推進する環境づくり	12
(3)子どもを虐待から守るまちづくりを進めます		13
13	未就園児の訪問事業	13
14	パパママオンライン講座の開催	13
15	知っていますか「189」	14
将来像2	ひとの輪がひろがる 助けあいのまち	15
(1)高齢者や障害者など誰もが地域で安心して暮らせるよう支援します		16
1	地域包括ケア区民のつどい	16
2	認知症市民講演会の開催	16
3	認知症サポーターの拡大	17
4	はいかい高齢者検索システムの普及利用促進	17
5	認知症カフェの増設	18
6	地域支えあい事業の実施学区拡大と「地域支えあい相談窓口」の開設・運営支援	18
7	ふれあい・いきいきサロンの拡充に向けた支援	19
8	介護フェアの開催	19
9	介護予防（フレイル予防）活動の啓発	20
10	障害や障害者に対する理解の促進	20
11	障害者自立支援の促進	21
12	生活保護受給者等に対する自立支援	21
(2)地域ぐるみで共に助けあい、互いに尊重し認めあい、共生できるまちづくりを進めます		22
13	高齢者見守りネットワークの強化	22
14	SOSあんしんカード・ポット	22
(3)いくつになっても健康で生きがいを持って暮らし、地域で活躍できるよう支援します		23
15	歯と口の1日健康センター	23
16	出張健康相談	23
17	地域乳がん検診	24
18	食育推進協力店登録事業	24
19	まだまだ現役世代！地域デビュー応援事業	25
将来像3	地域がつながる 安心・安全なまち	26
(1)災害に備え「自助」「共助」「公助」の役割を意識し、迅速かつ的確な対応が行える災害に強いまちづくりを進めます		27
1	防災相談会	27
2	あなたの家庭の防災アシスト事業	27
3	幼児とパパ・ママ世代の防災あんしん事業	28
4	総合防災訓練	28
5	A（あんしん）・A（あんぜん）ひろば ～防災～	29
6	自主防災訓練	29
7	体験！地震直後の声かけ救援事業	30

8	自主防災リーダー講習会	30
9	指定避難所運営訓練・リーダー研修の実施	31
10	総合水防訓練	31
11	めいとう総合見守り支援事業	32
12	初動対応訓練	32
13	防災調整会議	33
(2)犯罪や交通事故がなく、安心して安全な地域づくりを進めます		34
14	A（あんしん）・A（あんぜん）ひろば ～防犯・交通安全～	34
15	交通事故のないまちづくりの推進	34
16	地域の防犯力の向上	35
将来像4 きれいがひろがる 快適な環境のまち		36
(1)身近な自然に親しむ環境をつくりま		37
1	メイトウ魅力発信3事業～緑地～ 『緑地フォトコンテスト』	37
2	自然散策会	37
3	なでしこKADAN	38
4	猪高緑地の森づくり	38
(2)快適な生活環境づくりを進めます		39
5	路上禁煙の推進	39
6	清掃活動団体の活動支援	39
7	空地・空家の適切な管理の推進	40
8	放置自転車の追放	40
9	おさんぽマイスター宣言	41
10	マナーつながる黄色い輪活動	41
(3)次世代につなぐ環境に配慮した暮らしを推進します		42
11	エコフェスタ名東	42
12	名東区環境配慮行動促進事業（エコアクションin名東）	42
13	緑のカーテンづくりの普及促進	43
14	ごみ減量の推進	43
将来像5 笑顔がひろがる 魅力と交流のまち		44
(1)まちの魅力資源を活かし、にぎわいと交流のあるまちづくりを進めます		45
1	メイトウ魅力発信3事業～音楽・芸術～ 『ウェルカム名東転入者応援事業 第5弾』	45
2	メイトウ魅力発信3事業～歴史的資源～ 『謎解きでときめけ！高針縁結び』	45
3	区の花「ナデシコ」のPR推進	46
4	名東の日・区民まつり	46
5	地域イベント盛り上げ支援	47
6	メイトウ情報チャンネル	47
(2)生涯を通してスポーツや文化・芸術活動に親しむまちづくりを進めます		48
7	スポーツの振興	48
8	若い世代の文化・芸術活動応援事業	48
9	文化芸術活動の促進	49
(3)区民が主体となり、多様な協働・連携を進めるまちづくりに取り組みます		50
10	地域コミュニティ活性化の支援	50
11	なでしこパートナーシップ事業	50
区役所づくり 親しまれ信頼される 区役所をめざして		51
(1)お客様に満足いただけるサービスを提供します		52
1	窓口サービスの提供	52
(2)区民ニーズを的確に把握し、区政に反映します		53
2	広聴活動	53
(3)区民の立場に立ち、よりわかりやすい情報発信・情報提供を進めます		54
3	情報発信・広報	54

令和4年度区政運営方針事業シート

将来像 1 未来につながる 子育てしやすいまち

1 めざす姿

- (1) 子育ての不安感や負担感・孤立感が軽減され、地域で安心して子どもを生み育てられる
- (2) 子どもが虐待から守られ、心身ともに健康に育ち、社会的に自立した大人に成長していく

2 施策の柱

- (1) 地域で安心して子育てができる環境づくりを進めます
- (2) 子どもや青少年が地域で健やかに成長できる環境づくりを進めます
- (3) 子どもを虐待から守るまちづくりを進めます

3 将来ビジョンに掲げる成果指標の進捗状況

指 標	ビジョン 策定時の値	令和3年度	目標値 令和5年度	進捗状況
子育てしやすいまちだと思える区民の割合	90%	83.4% (参考値)	95%	☆
保育案内人による相談会の参加者数	35人	103人	80人	☆☆☆☆
児童虐待の通告先（児童相談所又は区役所）を知っている区民の割合	70%	50.1% (参考値)	80%	☆

※「参考値」とは、ビジョン策定時とは異なる調査手法による値です。

4 区政運営方針に掲載している事業の目標達成状況

施 策	目標達成状況				
	A	B	C	D	合計
(1) 地域で安心して子育てができる環境づくりを進めます	5	0	2	1	8
(2) 子どもや青少年が地域で健やかに成長できる環境づくりを進めます	3	0	0	1	4
(3) 子どもを虐待から守るまちづくりを進めます	1	0	1	1	3
合 計	9	0	3	3	15

(1) 地域で安心して子育てができる環境づくりを進めます

事業名	子育て支援応援事業		担当課	民生子ども課、 社会福祉協議会	
目 的	安心して子育てしやすいまちを地域の皆さんでつくり上げるための担い手の掘り起こしを図るなど、子ども・子育て支援の推進と共同募金への理解の拡大のため、実施します。		区 分	継続	
取組内容	社会福祉協議会が法人格を持たない任意団体（ボランティア団体等）、営利を目的としない法人などが「子ども・子育て支援」を目的として名東区内で実施する事業に対して、公開プレゼンテーション（ヒアリングを含む。）による審査を実施して対象事業者を決定し、愛知県共同募金会からの共同募金を財源として、助成します。				
コロナ対策案	公開プレゼンテーションは、新型コロナウイルスの感染状況により、実施の可否を判断しますが、実施する際は空気清浄器の設置、換気、参加者のマスク着用・手指消毒、間隔を広げた座席配置等の感染防止対策を行います。				
目標値	子ども・子育て支援事業助成 3件 子ども・子育て支援きっかけチャレンジ助成 3件		予算額	—	
前年度実績	子ども・子育て支援事業助成 3件 子ども・子育て支援きっかけチャレンジ助成 3件	決算額	—	目標達成 状況	A
前年度目標値	子ども・子育て支援事業助成 3件 子ども・子育て支援きっかけチャレンジ助成 3件				

事業名	出張保育相談窓口の増設		担当課	民生子ども課	
目 的	保育を希望する保護者が相談しやすい環境をつくと共に、相談する機会を増やすため、実施します。		区 分	継続	
取組内容	出張保育相談では、就園前のお子さんを持つ保護者と、これからパパママになる方を対象に、今後の子育てに関する不安を少しでも解消できるよう、主に保育所利用に向けての情報提供を出張形式で実施しています。保育所始め子育て世帯の方が集まる場所においての出張保育相談窓口回数を増やし、保育所利用説明及び区内施設情報の提供を行います。				
コロナ対策案	コロナ禍の対応として、少人数で集まる場所において保育所利用説明及び区内施設情報の提供を行います。				
目標値	保育案内人による相談会の参加者数 60人			予算額	—
前年度実績	保育所等での開催回数 7回	決算額	—	目標達成状況	A
前年度目標値	保育園での開催回数 3回				

事業名	のびのび子育てをあなたがサポート		担当課	民生子ども課	
目 的	子育てのちょっとした手助けを求める転入者を中心としたニーズに対応し、地域で子育てを支えるまちづくりを進めるため、実施します。		区 分	継続	
取組内容	子育てが落ち着いた世代が集まる場（還暦式、PTAなど）や子育てに関心がある方が集まる場（子ども・子育て支援応援事業の審査会添付、社会福祉協議会）、託児ボランティア養成講座（生涯学習センター）などを活用することで、「名古屋のびのび子育てサポート事業」の提供会員の増加に取り組みます。				
コロナ対策案	コロナ禍で還暦式が中止となった場合は、前年の還暦式で地域活動に関する情報提供を希望するとされた方に、「名古屋のびのび子育てサポート事業」の案内を送付します。				
目標値	提供会員新規入会人数 8人			予算額	—
前年度実績	提供会員新規入会人数 3人	決算額	—	目標達成状況	D
前年度目標値	提供会員新規入会人数 15人				

事業名	パパママの生の声を聴こう！			担当課	民生子ども課	
目 的	区役所が把握しきれていない子育て当事者のニーズを捉え、区の子育て支援に反映するため、実施します。			区 分	継続	
取組内容	「子育てふれあい広場」や「子育てサロン」、生涯学習センターの保護者向け講座など子育て中のパパママが集まる場を積極的に活用し、子育てで困っていることや支援してほしいことなどをインタビューやオープンサロンなどで把握します。					
コロナ対策案	コロナ禍の対応として、インタビューやオープンサロンの手法は中止し、ZOOMで実施する「子育て支援講座」などの参加者にオンラインアンケートを実施します。					
目標値	パパママの生の声の数 50件				予算額	—
前年度実績	パパママの生の声の数 32件（オンラインアンケート数を含む）			決算額	—	目標達成状況
前年度目標値	パパママの生の声の数 15件（オンラインアンケート数）					
						A

事業名	子育てふれあい広場の開催		担当課	民生子ども課	
目 的	地域の子育てにかかわる機関や団体が協力し、多様な子育てのニーズに応えるため、実施します。		区 分	継続	
取組内容	区内の子育て支援機関で構成した名東区子育て支援ネットワーク連絡会が中心となり、名東スポーツセンターを会場に、親子で楽しめるイベントを11月に開催します。遊びのコーナー、手作りおもちゃのコーナー、アトラクションのコーナー、赤ちゃんコーナー、足がたコーナー、絵本コーナー、子育て支援機関紹介を実施します。				
コロナ対策案	コロナ禍の対応として、イベントの縮小やオンライン配信などの代替手段について、実行委員会で検討します。				
目標値	参加者数 750人			予算額	—
前年度実績	参加者数 150人	決算額	—	目標達成状況	A
前年度目標値	参加者数 100人				

事業名	子育てミニ広場の開催		担当課	民生子ども課		
目 的	遊びの広場を通じた情報提供（子育て支援センターやエリア保育所、児童館などの子育て支援施設の紹介やイベント案内など）や育児相談により子育て支援を行うため、実施します。		区 分	継続		
取組内容	地域子育て支援センターが中心となり、区内保育園等の協力を得て、ショッピングセンターやコミュニティセンターなど様々な場所で遊びの場として年8回開催します。ベビーダンス、あそびの広場、うりんこ劇場のパフォーマンス、クリスマス会を実施します。 地域連携として、愛知東邦大学内の施設でも開催しており、学生ボランティアも参加しています。					
コロナ対策案	コロナ禍の対応として、定員数の制限やイベントの内容の変更について、実行委員会で検討します。					
目標値	参加者数 400人			予算額	160 千円	
前年度実績	参加者数 218人		決算額	180千円	目標達成状況	C
前年度目標値	参加者数 360人					

事業名	子育てサロンの支援		担当課	民生子ども課		
目 的	子育てをしている保護者やその子が地域で交流できるとともに、子育てに関する相談をできる子育てサロンの魅力を向上するため、実施します。		区 分	継続		
取組内容	子どもサロンは、各学区の主任児童委員が主体となって、子育てをしている保護者やその子の交流や相談の場として、玩具や絵本を準備し、コミュニティセンターでおしゃべり会などを月1回から週1回開催し、お誕生会、クリスマス会、リトミック、ベビーマッサージ、人形劇などのイベントも実施しています。この実施にあたり、専門家講師による講座開催や玩具や絵本などの備品購入について、助成します。					
コロナ対策案	コロナ禍の対応として、消毒液等の衛生用品の購入や、参加者間の距離を確保するためのマットの購入についても助成します。また、コロナ禍での子育てサロンの対応について、主任児童委員連絡会を活用し、情報共有します。					
目標値	助成事業 19件			予算額	380千円	
前年度実績	助成事業 14件		決算額	380千円	目標達成状況	C
前年度目標値	助成事業 19件					

事業名	子育て支援情報の充実		担当課	民生子ども課		
目 的	子育て支援機関や関係者と連携して地域の子育て支援情報を紹介するため、実施します。		区 分	継続		
取組内容	子育て支援ネットワーク連絡会や主任児童委員連絡会と連携し、0歳から3歳くらいまでの子育て支援情報をとりまとめ、子育て支援情報誌「はじめのいっぽ」として名東区公式ウェブサイトで公開します。 一目でわかりやすい子育て支援情報を集約した「名東区子育てマップ」を発行し、「はじめのいっぽ」と合わせて主任児童委員による赤ちゃん訪問で配付するほか、転入された方に民生子ども課の窓口などで配付します。また、引き続きweb版名東区子育てマップを公開します。					
コロナ対策案	コロナ禍で赤ちゃん訪問が中止となった場合は、ポスティング等により「はじめのいっぽ」などの子育て支援情報を届けます。					
目標値	web版名東区子育てマップへのアクセス件数 60,000件			予算額	552 千円	
前年度実績	web版名東区子育てマップへのアクセス件数 86,445件（令和4年3月30日現在）		決算額	756千円	目標達成状況	A
前年度目標値	web版名東区子育てマップへのアクセス件数 60,000件					

(2) 子どもや青少年が地域で健やかに成長できる環境づくりを進めます

事業名	〈区の特性に応じたまちづくり事業〉 絵本でつながる親子の時間		担当課	民生子ども課		
目 的	絵本をツールとして、親と子、そして親と親をつなぐことで、子育ての不安感や負担感・孤立感を軽減するため、実施します。		区 分	継続		
取組内容	絵本をツールとして、親子と親同士の交流の場を提供し、子育ての孤立感、負担感の軽減を図ります。また、地域の様々な子育て支援者（主任児童委員、子育て支援拠点職員など）への研修も併せて実施することで、地域で子育てを応援する体制を構築し、親子と地域のつながりを作り、子育てしやすいまちを醸成します。 また、名東区で実施している「絵本に関する取組み」をまとめた広報媒体を作成し、赤ちゃん訪問の際に子育て世帯に情報提供するとともに、参加の促進を行います。					
コロナ対策案	コロナ禍の対応として、定員数を制限し、十分な距離が取れる環境で行います。絵本や道具を消毒するために、スタッフを増員します。					
目標値	延べ参加者数 380人			予算額	1,500千円	
前年度実績	延べ参加者数 215人		決算額	1,500千円	目標達成状況	A
前年度目標値	延べ参加者数 190人					

注）区の特性に応じたまちづくり事業は、区民の皆さまとともに、区の特性に応じたまちづくりに取り組むための事業です。

事業名	健診時の絵本読み聞かせ		担当課	保健予防課	
目 的	健診前に名東図書館のボランティアによる絵本の読み聞かせや実演を行うことにより、読み聞かせによる乳幼児とのふれあいや、時間と空間を共有する大切さを伝え、家庭で絵本を楽しむきっかけを作ることが目的とします。		区 分	継続	
取組内容	1 歳6か月児健診及び3 歳児健診を待っている乳幼児とその保護者に、名東図書館のボランティアが絵本を読み聞かせたり実演したりするものです。 【健診実施回数】 1 歳6カ月健診 年35回 （令和元年度まで、全日程で読み聞かせ実施） 3 歳時健診 年23回 （令和元年度まで、全日程で読み聞かせ実施）				
コロナ対策案	3密回避のため、当面実施を見合わせます。適切な感染症防止策を講じたうえで実施をめざします。				
目標値	令和2 年度53回→中止。令和3 年度：中止。 令和4 年度の再開は未定。			予算額	—
前年度実績	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	決算額	—	目標達成状況	D
前年度目標値	令和2 年度53回→中止。令和3 年度の再開は未定。				

事業名	ジュニアスポーツの支援		担当課	地域力推進室		
目 的	ジュニアスポーツクラブの指導者等に対して必要な専門知識の習得や指導技術の向上を図るための講習会を開催することで、子どもたちが、健康で安全に活動できるよう支援する事業を実施します。		区 分	継続		
取組内容	ジュニアスポーツクラブ運営委員会において、グループ交流を通じて意見交換会を実施し、指導者間の交流を深めるとともに、指導者等の知識向上を図るため「児童に対する安全・健康管理の指導手法」、「子どもがスポーツを楽しむことの重要性」について専門講師を招き、講習会を実施します。 ※ジュニアスポーツクラブ運営委員会 ジュニアスポーツクラブ監督・指導者・保護者、スポーツ推進委員等が参加し、クラブの運営、選手の指導方法等の意見交換をする場。例年8月に開催。					
コロナ対策案	新型コロナウイルス感染防止対策として指導者講習会をオンラインで実施します。					
目標値	指導者講習会の参加者から「参考になった」と回答いただいた割合 90%以上			予算額	49千円	
前年度実績	指導者講習会の参加者から「参考になった」と回答いただいた割合 100%		決算額	49千円	目標達成状況	A
前年度目標値	指導者講習会の参加者から「参考になった」と回答いただいた割合 90%以上					

事業名	青少年の健全育成を推進する環境づくり		担当課	地域力推進室	
目 的	大人と子どもの連帯を強めるとともに、地域で子どもたちを温かく励ます機運を盛り上げることで、青少年が健全に育つ環境づくりをすすめる事業を実施します。		区 分	継続	
取組内容	区民、事業者や行政機関で構成する「安心・安全で快適なまちづくり協議会」を中心に、毎年開催している「子ども青少年育成区民のつどい」に合わせて、青少年が健全に育つ環境づくりをすすめるための講演会を開催します。 ※子ども青少年育成区民のつどい 「安心・安全で快適なまちづくり協議会 青少年健全育成部会」が主催。区内の青少年健全育成に係る取り組み事例発表、社会を明るくする運動の優秀作文発表、青少年健全育成に関する講演会の3部構成、例年12月に開催。				
コロナ対策案	新型コロナウイルス感染防止対策として子ども青少年育成区民のつどいをオンラインで開催します。				
目標値	つどいの参加者から「よかった」と回答いただいた割合 80%以上		予算額	—	
前年度実績	来場者から「よかった」と回答いただいた割合 89%		決算額	—	目標達成状況
前年度目標値	来場者から「よかった」と回答いただいた割合 80%以上				
					A

(3) 子どもを虐待から守るまちづくりを進めます

事業名	未就園児の訪問事業		担当課	民生子ども課	
目 的	未就園で福祉サービス等を利用していないなど関係機関が安全を確認できていない子どもの安全確認・安全確保を図るため、実施します。		区 分	継続	
取組内容	乳幼児健診のある3歳までは健診で、就園児・就学児は保育園・幼稚園、学校等で安全が確認できますが、4歳から就学までの未就園児は安全を確認する機会がありません。関係機関等による安全確認ができていない未就園児を訪問し、必要とする支援につなぎます。				
コロナ対策案	コロナ禍においても、例年どおり実施します。				
目標値	関係機関等による安全確認ができていなかった未就園児 安全確認 100%			予算額	—
前年度実績	安全確認 100%		決算額	—	目標達成 状況
前年度目標値	安全確認 100%				
					A

事業名	パパママオンライン講座の開催		担当課	民生子ども課	
目 的	平日に働くパパやママが子育て支援講座に参加できるようにするため、実施します。		区 分	継続	
取組内容	平日開催している講座に加え、日曜日にオンラインで「子育て支援講座」を実施することで、平日の昼間に働いているパパやママが参加できるようにします。				
コロナ対策案	コロナ禍の対応として、オンラインで実施します。				
目標値	参加アカウント数 30アカウント			予算額	37 千円
前年度実績	参加アカウント数 3アカウント	決算額	16千円	目標達成 状況	D
前年度目標値	参加アカウント数 30アカウント				

事業名	知っていますか「189」		担当課	民生子ども課	
目 的	児童虐待について啓発するとともに、児童虐待の連絡先として、児童相談所虐待対応ダイヤルである「189」を周知するため、実施します。		区 分	継続	
取組内容	区役所が5月、11月（児童虐待防止推進月間）に行う行事（区民まつり、子育てふれあい広場、A・A広場、子育て支援講座など）を活用し、児童虐待の啓発と「189」の周知を行います。				
コロナ対策案	区公式TwitterなどのSNSを活用し、周知を行います。				
目標値	児童虐待の通告先を知っている区民の割合 78% （乳幼児健診アンケート）		予算額	—	
前年度実績	児童虐待の通告先を知っている区民の割合 50.2%	決算額	—	目標達成状況	C
前年度目標値	児童虐待の通告先を知っている区民の割合 65%				

令和4年度区政運営方針事業シート

将来像2 ひとの輪がひろがる 助けあいのまち

1 めざす姿

- (1) 地域住民の誰もが住み慣れた地域で助けあい、安心して尊厳のある生活を送ることができている
- (2) 生涯にわたり健康で、心豊かな生活を送ることができている

2 施策の柱

- (1) 高齢者や障害者など誰もが地域で安心して暮らせるよう支援します
- (2) 地域ぐるみで共に助け合い、互いに尊重し認め合い、共生できるまちづくりを進めます
- (3) いくつになっても健康で生きがいを持って暮らし、地域で活躍できるよう支援します

3 将来ビジョンに掲げる成果指標の進捗状況

指 標	ビジョン 策定時の値	令和3年度	目標値 令和5年度	進捗状況
認知症カフェ設置学区数	10学区	12学区	19学区	☆☆
困ったときに相談できる人が隣近所や地域にいる高齢者の割合	52.4%	72.6%	65%	☆☆☆☆
健康であると感じている高齢者の割合	63.3%	78.8%	71.1%	☆☆☆☆

4 区政運営方針に掲載している事業の目標達成状況

施 策	目標達成状況				
	A	B	C	D	合計
(1) 高齢者や障害者など誰もが地域で安心して暮らせるよう支援します	7	0	2	3	12
(2) 地域ぐるみで共に助け合い、互いに尊重し認め合い、共生できるまちづくりを進めます	1	1	0	0	2
(3) いくつになっても健康で生きがいを持って暮らし、地域で活躍できるよう支援します	1	0	0	4	5
合 計	9	1	2	7	19

(1) 高齢者や障害者など誰もが地域で安心して暮らせるよう支援します

事業名	地域包括ケア区民のつどい	担当課	福祉課		
目 的	訪問診療や介護サービス等を利用した在宅療養についての区民の理解の促進を図るため、実施します。	区 分	継続		
取組内容	名東区医師会と共催で、在宅医療と介護の連携に関する区民向け講演会を1回開催します。				
コロナ対策案	定員を少なくする等の感染症対策を充実させ、開催します。				
目標値	アンケートにて「理解できた」「少し理解できた」と回答した割合が合わせて80%（未記入は除く）	予算額	—		
前年度実績	アンケートにて「理解できた」「少し理解できた」と回答した割合が合わせて93%（未記入は除く）	決算額	—	目標達成状況	A
前年度目標値	アンケートにて「理解できた」「少し理解できた」と回答した割合が合わせて80%（未記入は除く）				

事業名	認知症市民講演会の開催	担当課	保健予防課、福祉課、社会福祉協議会		
目 的	地域住民、認知症の方の家族や介護サービス関係者に対し、認知症サポート医の協力の下、認知症医療や認知症予防に関する正しい知識の普及を推進することを目的とし、実施します。	区 分	継続		
取組内容	・名東区は認知症市民講演会を「認知症普及啓発事業」として位置づけ、地域包括ケア推進事業の認知症施策の一つとして、平成23年より毎年1回、開催しています。 ・専門的な講師による講演会や映画上映等、毎年工夫しつつ、取り組んでいます。 ・令和4年度は、認知症に関する専門家の講話、家族や支援者が実践できる様々な活動の紹介・実技指導等、引き続き認知症の予防・支援に関する講演を行う予定（11月17日（木）開催予定）です。				
コロナ対策案	会場(名東文化小劇場)感染予防ガイドラインに則り、定員設定、事前予約制、参加者への感染予防注意・体調確認票の送付、受付時の検温・体調確認、手指消毒液設置、時間差入退場、待機列の設置、会場内の感染予防チラシ配布・貼紙・アナウンス、会場内消毒の随時実施、換気(扉の開放)など				
目標値	アンケートにて「理解できた」「少し理解できた」と回答した割合が80%（未記入は除く）		予算額	—	
前年度実績	新型コロナウイルス感染症防止のため中止	決算額	—	目標達成状況	D
前年度目標値	アンケートにて「理解できた」「少し理解できた」と回答した割合が80%（未記入は除く）				

事業名	認知症サポーターの拡大		担当課	福祉課	
目 的	認知症を理解し認知症の人やその家族を暖かく見守る認知症サポーターを増やすため、実施します。		区 分	継続	
取組内容	区民向けの認知症サポーター養成講座を定期開催するほか、官公署や小中高校、大学生、金融機関や商業施設等の事業者に対し、受講対象者に見合った内容で認知症サポーター養成講座を開催し、認知症サポーターを増やします。 また、高齢者サロンに対し、講座の開催を働きかけます。				
コロナ対策案	オンラインによる講座も実施します。				
目標値	受講者数 150人			予算額	—
前年度実績	受講者数 230人	決算額	—	目標達成状況	A
前年度目標値	受講者数 150人				

事業名	はいかい高齢者検索システムの普及利用促進		担当課	福祉課	
目 的	行方不明になった認知症の方をGPS端末を使用して捜索する「はいかい高齢者検索システム」について、区民の利用促進を図るため、実施します。		区 分	継続	
取組内容	「A（あんしん）・A（あんぜん）ひろば」にて、はいかい高齢者役の職員を、参加者がスマートフォン画面の模型を使って探し出し声をかけるという内容で「はいかい高齢者検索システム」の模擬訓練を実施することにより、区民にシステムの利用方法及び効果を周知し、システムの普及利用促進を図ります。				
コロナ対策案	システムの説明・利用方法等を記載したチラシを区民に配布し、普及啓発を図ります。				
目標値	新規申込者数 10人			予算額	—
前年度実績	新規申込者数 11人	決算額	—	目標達成状況	A
前年度目標値	新規申込者数 10人				

事業名	認知症カフェの増設		担当課	福祉課	
目 的	認知症のご本人やご家族、地域住民、専門職等、認知症に関心のある誰もが気軽に集まれる場所である認知症カフェについて、身近な場所で利用できるようにするため、実施します。		区 分	継続	
取組内容	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、区内の介護保険事業所などへ引き続き助成制度などの情報を提供し、開設を働きかけます。特に、高齢者サロンに対し、認知症についての理解を深め認知症の方も気兼ねなく通えるよう、「ろばかふえ」※への登録を働きかけます。また、認知症カフェ運営者交流会で情報交換を行い、認知症カフェの普及啓発に関するアイデアを検討・実践したり、既設の認知症カフェと新しい「ろばかふえ」の横のつながりづくりを考えていきます。 ※「ろばかふえ」とは、認知症カフェのうち、認知症の本人及び家族も気軽に集える高齢者サロン等のことで、名東区独自の愛称。				
コロナ対策案	カフェ開設を呼び掛けるチラシを配布し、普及啓発を図ります。				
目標値	設置学区数 16学区		予算額	—	
前年度実績	設置学区数12学区（新規に2学区で開設）	決算額	—	目標達成状況	C
前年度目標値	設置学区数14学区（新規に4学区で開設）				

事業名	地域支えあい事業の実施学区拡大と「地域支えあい相談窓口」の開設・運営支援	担当課	社会福祉協議会		
目 的	支援を必要とする高齢者等が可能な限り自立した日常生活を営むことができるようにすることで、住民同士の支えあいの意識の向上を図るため、実施します。	区 分	継続		
取組内容	○地域支えあい事業の実施拡大 学区の高齢者等のちょっとした困りごとを、地域の元気な高齢者を中心とする多様な主体による互助により支援する「地域支えあい事業」の実施学区拡大を図ります。 ○「地域支えあい相談窓口」の開設・運営支援 地域支えあい事業を実施しない学区についても、地域支えあい事業に準じた地域住民による身近な相談窓口である「地域支えあい相談窓口」の開設をすすめるため、サロン関係者に認知症サポーター養成講座を受講していただくとともに、認知症カフェ(ろばかふえ)になっていただくことで、相談窓口機能を高めていながら開設・運営支援を目指します。 ※名東区における地域支えあい事業の実施状況 平成28年10月～ 梅森坂学区・引山学区・藤が丘学区 平成30年6月～ 北一社学区 令和 元年 10月～ 高針学区 令和 3年6月～ 極楽学区				
コロナ対策案	事業実施にあたっては、コロナ禍における感染防止対策の実施もふまえて行います。				
目標値	地域支えあい事業の実施 新規1学区 「地域支えあい相談窓口」(ろばかふえ)の新規設置学区数 1学区		予算額	—	
前年度実績	地域支えあい事業の実施 新規1学区 「地域支えあい相談窓口」(ろばかふえ)の新規設置学区数 4学区	決算額	—	目標達成状況	A
前年度目標値	地域支えあい事業の実施 新規1学区 「地域支えあい相談窓口」(ろばかふえ)の新規設置学区数 2学区				

事業名	ふれあい・いきいきサロンの拡充に向けた支援		担当課	社会福祉協議会		
目 的	高齢者の交流の場となるふれあい・いきいきサロン（高齢者サロン）を増やすとともに、既存のサロンの機能拡充を図るため、実施します。		区 分	継続		
取組内容	地域住民に対してサロンの新たな設置を働きかけ支援するとともに、困りごとの発見・相談支援拠点となるような機能拡充に向けての検討を行います。 また、サロンの機能拡充と既存サロン運営者及びサロン開設希望者への交流・支援のため、サロン運営者交流・研修会「さろん♥すてっぴ」を引き続き毎月1回開催し、参加者の増に努めます。					
コロナ対策案	サロンの設置にあたっては、感染防止対策チェックシートによる感染防止対策を行い、「さろん♥すてっぴ」の開催にあたっては、空気清浄器の設置、換気、参加者のマスク着用・手指消毒、間隔を広げた座席配置等の感染防止対策を行います。					
目標値	サロンの設置か所数 85か所 「さろん♥すてっぴ」の延参加者数 160人			予算額	—	
前年度実績	サロンの設置か所数 75か所 「さろん♥すてっぴ」の延参加者数 56人（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年度内で2回中止）		決算額	—	目標達成状況	C
前年度目標値	サロンの設置か所数 85か所 「さろん♥すてっぴ」の延参加者数 160人					

事業名	介護フェアの開催	担当課	福祉課、保健予防課、社会福祉協議会		
目 的	地域包括ケアシステムや介護保険制度の普及啓発を図るとともに、地域の介護・医療資源の周知や介護について考えるきっかけづくりとするため、実施します。	区 分	継続		
取組内容	名東区地域包括ケア推進会議と名東区介護保険関係事業者連絡会が共催で、多くの区民が利用する商業施設等を会場として、介護に関する相談、健康チェック、介護食の紹介、福祉用具体験などの、介護を身近に感じてもらうためのイベント「介護フェア」を開催します。				
コロナ対策案	小さなブースで実施するなど、密にならない開催方法を検討します。				
目標値	来場者数 40人		予算額	—	
前年度実績	開催中止	決算額	—	目標達成状況	D
前年度目標値	来場者の合計数 40人				

事業名	介護予防(フレイル予防)活動の啓発		担当課	保健予防課、福祉課、社会福祉協議会	
目 的	区内の高齢者が、要介護状態になる事を予防し、要介護状態等の軽減または悪化を防止するため、実施します。		区 分	継続	
取組内容	名東区地域包括ケア推進会議 介護予防検討会では、介護予防に関する地域課題の把握や、関係機関連携の促進、解決策の共有検討、実施のための協議を行います。令和2年度には介護予防に関する社会資源の情報整理を行い、これらをマップ化したものの作成配布と、コロナ禍においても在宅でフレイル予防に取り組むための体操紹介チラシを作成配布しました。令和3年度はコロナ禍でも気軽にできるウォーキングのチラシを作成配布しました。令和4年度も引き続きコロナ禍の状況が継続すると予想されるため、栄養に関するフレイル予防を内容としたチラシを作成配布し、普及啓発を行います。				
コロナ対策案	令和4年度も、コロナ禍により、コミセン等での介護予防事業や高齢者サロンが開催できない可能性があります。栄養不足による筋肉の減少や身体活動量の減少を予防するため、栄養改善のチラシを作成・配布し、三密を回避しつつ高齢者が介護予防(フレイル予防)に取り組む事を支援します。				
目標値	介護予防フレイル予防（栄養）チラシ作成配布（4,000枚）			予算額	—
前年度実績	介護予防（フレイル予防）ウォーキング支援チラシ A3 2つ折り 配布数（4000枚）	決算額	—	目標達成状況	A
前年度目標値	介護予防（フレイル予防）ウォーキング支援チラシ A3 2つ折り 配布数（4000枚）				

事業名	障害や障害者に対する理解の促進		担当課	福祉課	
目 的	障害の有無に関わらず誰もが安心して暮らせる社会の実現を目指し、市民等の障害や障害者に対する理解を促進するため、実施します。		区 分	継続	
取組内容	(1) 講演会の開催 名東区障害者自立支援連絡協議会等の関係機関と連携して、講演会を開催します。 (2) 障害者疑似体験事業の実施 「名東の日・区民まつり」や「めいとう福祉まつり」等のイベント開催時に、障害者疑似体験事業を実施します。 ※障害者疑似体験事業：疑似体験を通して、障害のある方が持つ不自由さや不安感などを実際に感じていただくことにより、障害や障害者に対する理解を深めることを目的とする事業。 (3) 障害者に関する勉強会への講師派遣 各学区の民生委員・児童委員協議会に講師を派遣し、障害者への理解を深める勉強会を開催します。 その際、名東区障害者自立支援連絡協議会で作成した市民啓発用DVDを活用します。 ※講師は名東区障害者基幹相談支援センター職員。				
コロナ対策案	○(1)～(3)を実施する場合、マスク着用や座席の間隔をあける等の感染予防対策を徹底して実施します。 ○(1)を実施しない場合、市民啓発物の作成等を行います。				
目標値	講演会の参加者から「理解できた」「少し理解できた」と回答いただいた割合が合せて90%(未記入は除く)		予算額	80 千円	
前年度実績	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため講演会を中止し、代替施策として障害者理解促進のための啓発DVDを改訂しました。	決算額	75千円	目標達成状況	D
前年度目標値	講演会の参加者から「理解できた」と回答いただいた割合90%				

事業名	障害者自立支援の促進		担当課	福祉課		
目 的	障害者の自立生活を支援するとともに、災害時に障害者に配慮すべき事項等を確認するため、実施します。		区 分	継続		
取組内容	授産製品カタログを作成・配布するとともに、区役所や区内の公共施設等のスペースを活用して、授産製品の展示や販売を行います。 また、区内の事業所情報を掲載した障害者福祉マップを作成・配布します。 加えて、防災訓練に、障害者の方に参加していただくとともに、障害者疑似体験を実施し、ガイドブック「こんなときどうする？」を配布します。					
コロナ対策案	○コロナ禍収束までの間、授産製品の展示は区役所ロビーのみとします。授産製品の販売については、飛散防止シートやアルコール除菌等の対策を徹底しながら取り組み、名古屋市が危険度が高いと判断した場合は、速やかに事業を中止します。 ○コロナ禍においても、カタログ及びマップの作成は実施します。 ○防災訓練についても、危険度が高いと判断した場合は、速やかに参加を中止します。					
目標値	区役所などでの展示日数 延べ100日 区役所での販売日数 延べ200日			予算額	165 千円	
前年度実績	区役所などでの展示日数 延べ258日 区役所での販売日数 延べ270日		決算額	160千円	目標達成状況	A
前年度目標値	区役所などでの展示日数 延べ100日 区役所での販売日数 延べ200日					

事業名	生活保護受給者等に対する自立支援		担当課	民生子ども課	
目 的	就労可能な生活保護受給者及び生活困窮者に対して、就労の機会を提供します。		区 分	継続	
取組内容	就労可能な生活保護受給者に対して、ケースワーカーと就労支援員による集中かつ継続した就労支援を行うとともに、ハローワークが運営する就労支援コーナーと連携して、自立を支援します。 また、生活保護窓口において、生活に困窮する方の総合相談窓口「仕事・暮らし自立サポートセンター」の周知、紹介に努めます。				
コロナ対策案	コロナ禍により就労支援コーナーが閉鎖された場合などは、最低限の業務のみで継続予定。				
目標値	就職する生活保護受給者 150人			予算額	—
前年度実績	就職する生活保護受給者 192人	決算額	—	目標達成状況	A
前年度目標値	就職する生活保護受給者 150人				

(2) 地域ぐるみで共に助けあい、互いに尊重し認めあい、共生できるまちづくりを進めます

事業名	高齢者見守りネットワークの強化		担当課	福祉課	
目 的	今後高齢化がますます進展することに伴い、65歳以上ひとり暮らし高齢者や75歳以上高齢者のみ世帯の増加が見込まれるなか、高齢者の見守りを強化するため実施します。		区 分	継続	
取組内容	高齢者福祉相談員による高齢者訪問を、より見守り支援が必要な方に手厚い訪問となるようにしていきます。 また、地域住民・関係機関などにより構成される「名東区地域包括ケア推進会議 孤立対策部会」を中心に、高齢者の社会参加の促進や見守り支援の方策を検討し、実施していきます。 併せて、地域になじみの深い事業者と協定を締結するなど、高齢者の見守りを強化します。				
コロナ対策案	コロナ禍においても必要な事業であり、継続して取組をすすめます。				
目標値	連携強化を図る会議等の開催 年2回以上			予算額	—
前年度実績	連携強化を図る会議等の開催 2回開催		決算額	—	目標達成状況
前年度目標値	連携強化を図る会議等の開催 2回以上開催				
					A

事業名	SOSあんしんカード・ポット		担当課	総務課、福祉課、保健予防課、社会福祉協議会	
目 的	ひとり暮らし高齢者や障害のある方などが救急時・災害時に備え、いざという時の安心・安全につなげるため、実施します。		区 分	継続	
取組内容	医療情報や緊急連絡先等を記録し携帯・保管しておく「めいとうSOSあんしんカード」などを、高齢者・障害者の市外転入・区間異動の際に配付するとともに、民生委員や社会福祉協議会、保健予防課などの関係機関と連携して、必要な方への配付をすすめます。 また、広報なごやリーフレットなどを活用して、広く区民にPRを行い、すでに持っている方に対しても、最新の情報に更新されるようにすすめていきます。				
コロナ対策案	コロナ禍においても必要な事業であり、継続して取組をすすめます。				
目標値	「めいとうSOSあんしんカード」の配付 1,000枚			予算額	—
前年度実績	「めいとうSOSあんしんカード」の配付 808枚	決算額	-	目標達成状況	B
前年度目標値	「めいとうSOSあんしんカード」の配付 1,000枚				

(3) いくつになっても健康で生きがいを持って暮らし、地域で活躍できるよう支援します

事業名	歯と口の一日健康センター	担当課	保健予防課			
目 的	名古屋市歯と口の健康週間の実施事業として、歯と口の健康に関する正しい知識を市民に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せてその早期発見及び早期治療等を徹底することにより歯の寿命を延ばし、もって市民の健康の保持増進に寄与することを目的とします。		区 分	継続		
取組内容	名東区歯科医師会、名古屋市歯科衛生士会との共催による啓発イベントを実施します。 （内容） 1 歯科検診・フッ化物塗布 2 歯みがき指導 3 歯科相談 4 記念品配布・アトラクション その他 【来場者数】 平成29年度：517人 平成30年度：456人 令和元年度：617人 令和2年度・令和3年度中止					
コロナ対策案	R4年度について、集団開催は中止し、代替事業を検討。代替事業の実施時期・方法等は未定					
目標値	代替事業検討中のため、未定		予算額	—		
前年度実績	中止→代替事業：6月以降、名東区歯科医師会が未就学児への普及啓発事業を実施		決算額	—	目標達成状況	D
前年度目標値	健診者数 未定					

事業名	出張健康相談		担当課	保健予防課	
目 的	区民の方が多く来られる場所で行い、保健センターの事業や各種がん検診をPRすることにより、健康に対する意識を高め、健康づくりの推進を図ることを目的とします。		区 分	継続	
取組内容	区民まつり、大規模利用施設（ショッピングセンター、スポーツセンターなど）で、保健師・管理栄養士・歯科衛生士による個別相談を実施します。併せて、健康啓発ビデオの上映（がん・結核・禁煙など）、健康クイズ（「知って納得！食品表示」）、歯周病・口臭チェックなど、健康づくり事業や各種がん検診のPRを行います。年3回実施 【令和元年度の実績】春：区民まつり（東邦大学）1回/秋：区役所講堂前1回/冬：メイトピア（中止） 【相談者数】平成29年度（3回）：34人 / 平成30年度（3回）：34人 / 令和元年度（2回）：47人（令和2年1月から中止）				
コロナ対策案	新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、実施をめざします。				
目標値	実施回数 1回～3回		予算額	—	
前年度実績	感染症防止のため中止		決算額	—	目標達成状況
前年度目標値	2年度は年3回・200人→中止 3年度は未定。				
					D

事業名	地域乳がん検診			担当課	保健予防課																					
目 的	保健センターから離れている学区において、近くの小学校やコミュニティセンターに出向いて（委託業者のマンモグラフィー検診車使用）実施することで受診者数を高め、市民の健康保持を目的とします。			区 分	継続																					
取組内容	保健環境委員と連携して、小学校、コミュニティセンターで、保健師による乳がんに関する説明、自己触診法の紹介・指導、医師による問診（必要時に触診）、マンモグラフィー検査を行います。 【実施回数・参加人数】 <table><thead><tr><th></th><th>保健センター</th><th>地域（コミセン等）</th><th>合計</th><th>参加人数</th></tr></thead><tbody><tr><td>29年度</td><td>8回</td><td>5回</td><td>13回</td><td>219人</td></tr><tr><td>30年度</td><td>8回</td><td>7回</td><td>15回</td><td>242人</td></tr><tr><td>元年度</td><td>7回</td><td>5回</td><td>12回</td><td>271人（保健センター3月16日を中止）</td></tr></tbody></table>							保健センター	地域（コミセン等）	合計	参加人数	29年度	8回	5回	13回	219人	30年度	8回	7回	15回	242人	元年度	7回	5回	12回	271人（保健センター3月16日を中止）
	保健センター	地域（コミセン等）	合計	参加人数																						
29年度	8回	5回	13回	219人																						
30年度	8回	7回	15回	242人																						
元年度	7回	5回	12回	271人（保健センター3月16日を中止）																						
コロナ対策案	新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、実施をめざします。																									
目標値	実施回数 1回～数回				予算額	—																				
前年度実績	感染症防止のため中止			決算額	—	目標達成状況																				
前年度目標値	2年度の目標は年3回・240人→中止 3年度の実施は未定																									
						D																				

事業名	食育推進協力店登録事業		担当課	保健予防課		
目 的	「食育推進協力店」として登録し、栄養を中心とした健康情報を市民に適切に提供することにより、市民自らの健康管理を支援し、生活習慣病予防を中心とした健康づくりに寄与することを目的とします。		区 分	継続		
取組内容	飲食店及給食施設等における栄養成分表示、食生活や健康に関する情報を区民に提供します。 【登録事業者数】 237施設（令和元年9月現在） 239施設（令和3年1月現在）、R2年度の新規登録4施設 230施設（令和3年12月現在）、R3年度の新規登録4施設					
コロナ対策案	給食施設を中心に協力店登録を勧奨。 既存協力店に対し、利用者への普及啓発、食育環境整備への協力を進めます。					
目標値	新規登録 4店舗・施設			予算額	—	
前年度実績	新規登録 4店舗・施設		決算額	—	目標達成状況	A
前年度目標値	新規登録 4店舗・施設					

事業名	まだまだ現役世代！地域デビュー応援事業		担当課	地域力推進室、福祉課、社会福祉協議会	
目 的	「60歳の門出を祝う会～還暦式～」(以下「還暦式」といいます。)への参加をきっかけとして、地域とのつながりの再構築及び地域活動への機会創出を行い、元気な高齢者の社会参加・活躍を図るため、実施します。		区 分	継続	
取組内容	○還暦式及び式の終了後に開催する「区民交流還暦パーティー」を起点に、学区から対象者への地域活動の参加勧奨や継続的な情報提供、ボランティア活動の紹介等を行います。 ○還暦式参加者をはじめとする元気な高齢者が自主的に学習・活動するグループへの加入・参加の呼びかけなどを行います。 ○還暦式参加者をはじめとする元気な高齢者の興味・関心が高く、かつ、地域活動への参加に結びつけることができる勉強会・企画等の検討・実施を行います。				
コロナ対策案	○還暦式については、会場となる文化施設における感染拡大予防ガイドラインに従うとともに、還暦式区民交流還暦パーティーについては、コロナ禍の状況をふまえて開催の可否を判断し、開催方法も工夫します。 ○勉強会・企画等の検討・実施を感染拡大防止対策も取り入れて行います。				
目標値	元気な高齢者が自主的に学習・活動するグループへの新たな加入者数 20人			予算額	—
前年度実績	元気な高齢者が自主的に学習・活動するグループへの新たな加入者数 1人(公式LINE登録は28名増)(区民還暦交流会を新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	決算額	—	目標達成状況	D
前年度目標値	元気な高齢者が自主的に学習・活動するグループへの新たな加入者数 20人				

令和4年度区政運営方針事業シート

将来像3 地域がつながる 安心・安全なまち

1 めざす姿

- (1) 地域住民と行政が協力し、災害への備えができている
- (2) 地域住民と行政が協力して、犯罪、交通事故が起こりにくいまちになっている

2 施策の柱

- (1) 災害に備え「自助」「共助」「公助」の役割を意識し、迅速かつ的確な対応が行える災害に強いまちづくりを進めます
- (2) 犯罪や交通事故がなく、安心して安全な地域づくりを進めます

3 将来ビジョンに掲げる成果指標の進捗状況

指 標	ビジョン 策定時の値	令和3年度	目標値 令和5年度	進捗状況
家庭内で3日分の備蓄物資が備えられている区民の割合	51.1%	64.9%	80%	☆☆☆
刑法犯認知件数	1,030件	544件	600件	☆☆☆☆
交通事故件数（人身事故）	587件	314件	380件	☆☆☆☆

4 区政運営方針に掲載している事業の目標達成状況

施 策	目標達成状況				
	A	B	C	D	合計
(1) 災害に備え「自助」「共助」「公助」の役割を意識し、迅速かつ的確な対応が行える災害に強いまちづくりを進めます	7	1	2	3	13
(2) 犯罪や交通事故がなく、安心して安全な地域づくりを進めます	2	0	0	1	3
合 計	9	1	2	4	16

(1) 災害に備え「自助」「共助」「公助」の役割を意識し、迅速かつ的確な対応が行える
災害に強いまちづくりを進めます

事業名	防災相談会		担当課	総務課	
目 的	各家庭における家具の転倒防止や7日分の備蓄を進めていただくにあたり、災害に対してどのような備えが必要かを理解していただくとともに、災害時の避難先や区内の危険箇所等防災上の疑問を解消するため、実施します。		区 分	継続	
取組内容	各種イベント等で家具転倒防止模型や7日分の備蓄見本などの展示とハザードマップ等の配布により、区民の防災への理解を高めるとともに、相談窓口を設けて「災害時にどこへ避難したらよいのか」「どのような備蓄が必要なのか」などの相談を受け付けます。				
コロナ対策案	「市が主催する催物（イベント等）に係るガイドライン」に従って適切な感染防止策を講じたうえで実施します。				
目標値	防災相談会の実施 2回		予算額	—	
前年度実績	防災相談会の実施 1回（新型コロナウイルス対策に伴う実施回数減）		決算額	—	目標達成状況
前年度目標値	防災相談会の実施 2回				
					C

事業名	あなたの家庭の防災アシスト事業		担当課	消防署警防地域第一・二課	
目 的	南海トラフ巨大地震などの大規模災害から命を守っていただくため、実施します。		区 分	継続	
取組内容	地域と相談し、「組回覧」「戸別訪問」「自主防災訓練」等の機会を捉え、「家庭の防災力チェック票」や「防災診断書」を活用し、今必要とされる防災対策を把握します。これらの手法を住民及び自治会の防災意識向上のきっかけとし、必要により防災対策について住民一人一人の相談にのる等、区民の防災力向上をアシストする事業です。併せて、家具転倒防止ボランティアと連携し家庭における家具の転倒防止対策をすすめていきます。 また、地域の集まりの機会に、消防署・消防団がお伺いして家庭の防災対策を説明する「出張！家庭の防災教室」を行います。				
コロナ対策案	各住戸の訪問や集まりに参加する際は、手指消毒やマスクの着用など感染予防対策を万全にします。また、コロナ禍により自主防災訓練などが未実施となる場合は、自主防災会長へ「家庭の防災力チェック票」を渡し、組回覧により防災対策を把握します。				
目標値	75自主防災会を対象に実施		予算額	—	
前年度実績	92自主防災会を対象に実施	決算額	—	目標達成状況	A
前年度目標値	75自主防災会を対象に実施				

事業名	幼児とパパ・ママ世代の防災あんしん事業	担当課	消防署予防課		
目 的	幼少期における防災教室の必要性に鑑み、幼少期の子どもに対する防災養育を行います。また、子育て世代の若いパパ・ママの防災意識の高揚を図ります。	区 分	継続		
取組内容	防災教室や各種イベントにおいて、防災絵本の読み聞かせや遊戯を通じて、幼少期の子どもとその父母に対し、自らの命を守るための行動や知識の習得を図ります。 さらに、若いパパ・ママに対しては地域の防災活動などの情報提供を行い、各種行事への参加を促進します。				
コロナ対策案	「市が主催する催物（イベント等）に係るガイドライン」に従って適切な感染防止策を講じたうえで実施します。				
目標値	区内10園の保育所・幼稚園等を対象に実施		予算額	—	
前年度実績	区内9園の保育所・幼稚園等を対象に実施	決算額	—	目標達成状況	B
前年度目標値	区内10園の保育所・幼稚園等を対象に実施				

事業名	総合防災訓練	担当課	総務課		
目 的	「自助」、「共助」及び「公助」の理念を念頭に置き、市民、防災関係機関、事業者及び市が、防災意識の高揚及び各種防災対策の推進を図るため、実施します。	区 分	継続		
取組内容	毎年度1中学校区の区民を対象として実施しています。 区役所・消防署をはじめとする区内防災関係機関が連携し、住民に対して「自助」「共助」の向上に資する訓練を行っています。自主防災組織についての訓練や、指定避難所運営マニュアルに基づく避難所運営訓練も実施しています。 また、障害者に訓練に参加していただき、災害時に配慮すべき事項などを相互に確認する機会を提供する取り組みを進めています。				
コロナ対策案	「市が主催する催物（イベント等）に係るガイドライン」に従って適切な感染防止策を講じたうえで実施します。				
目標値	「役立った」と回答する参加者の割合 90%	予算額	—		
前年度実績	資料配布及び動画の視聴による代替事業を実施（新型コロナウイルス対策として、訓練は中止）	決算額	—	目標達成状況	D
前年度目標値	「役立った」と回答する参加者の割合 90%				

事業名	A（あんしん）・A（あんぜん）ひろば ～防災～		担当課	地域力推進室		
目 的	名東区は他区と比べても子育て世代が多いことから、行政・事業者等が連携して子どもの安心・安全を確保していくことを目的に、実施します。		区 分	継続		
取組内容	11月の名東区まちづくり月間に、消防や区役所、事業者等が連携して「子どものあんしん・あんぜんを考える」をテーマに参加型の啓発イベントを実施します。防災などについて、地域、学校の実情や社会情勢等をふまえて実施内容や開催場所を決定し、中学校区を順にキャラバンします。 また、区として「あんしん・あんぜん道場」をブース出展し、効果的な啓発に努めます。					
コロナ対策案	コロナ禍においては、分散開催により参加人数を調整するなど、コロナ対策を講じて実施します。 代替策としては、情報コーナー等を活用し「あんしん・あんぜん道場」を単独実施します。					
目標値	あんしん・あんぜん道場への参加者 200人			予算額	442 千円	
前年度実績	「あんしん・あんぜん道場」入門編と修行編を代替事業として実施（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）		決算額	255千円	目標達成 状況	D
前年度目標値	スタンプラリー参加者200人					

事業名	自主防災訓練	担当課	消防署警防地域第一・二課		
目 的	大規模地震等の災害に備えて、地域住民一人ひとりが、「自分たちのまちは、自分たちで守る。」ことを意識していただくため、実施します。	区 分	継続		
取組内容	学区および町内会単位で実施される自主防災訓練を支援します。防災診断書を活用し、各自主防災会に必要とされる基本的な訓練を提案します。 （防災診断書による基本的訓練） ①安否確認訓練 ②現地本部運営訓練 ③初期消火訓練 ④救出救護訓練 ⑤避難誘導訓練 ⑥防災計画・マップ等の作成				
コロナ対策案	支援のため訓練参加する際は、手指消毒やマスクの着用など感染予防対策を万全にします。また、コロナ禍により自主防災訓練などが未実施となる場合は、令和2年度配付のDVD視聴による「見る訓練」や安否確認訓練など、人と人との接触の少ない訓練を提案します。				
目標値	52自主防災会にて実施		予算額	—	
前年度実績	100自主防災会を対象に実施	決算額	—	目標達成状況	A
前年度目標値	52自主防災会を対象に実施				

事業名	体験！地震直後の声かけ救援事業		担当課	消防署警防地域第一・二課	
目 的	災害発生時には、隣近所の声かけが非常に重要となります。 回覧板などで一戸一戸安否を確認するなど、自主防災活動の流れをご理解いただき、自主防災活動をイメージしていただくため、実施します。		区 分	継続	
取組内容	地震発生時の身の守り方、ご家族から、お隣やご近所、町内に至るまでの安否確認の流れを順序立てて模擬体験できる訓練（震災シミュレーション）を、自主防災訓練時などで地域のみなさまだけで行えるように消防署が支援していきます。				
コロナ対策案	支援のため訓練参加する際は、手指消毒やマスクの着用など感染予防対策を万全にします。また、コロナ禍により自主防災訓練などが未実施となる場合は、令和2年度配布の震災シミュレーション訓練DVD視聴による「見る訓練」を提案します。				
目標値	令和5年度に20自主防災会が単独で行えることを目指すため、令和4年度は7自主防災会が単独で実施できるように支援します。			予算額	—
前年度実績	58自主防災会に対し実施	決算額	—	目標達成状況	A
前年度目標値	7自主防災会に対し実施				

事業名	自主防災リーダー講習会	担当課	消防署警防地域第一・二課		
目 的	災害が発生した場合に、自主防災組織の要（リーダー）となる自主防災会長に「自助」「共助」についての知識や、災害が発生する前と発生した後の備えや行動要領についての知識を身につけていただくため、実施します。	区 分	継続		
取組内容	名東消防署に自主防災会長を招き、座学により自主防災組織の編成と役割を理解していただきます。その後、実技として「体験！地震直後の声かけ救援事業」の震災シミュレーション訓練を行い、災害が発生した時の各自主防災会における全体的な初動の流れを把握していただきます。また、「防災診断書」によりアンケートをとらせていただき、各自主防災会が今後取り組むべき訓練内容を提案し、支援していきます。				
コロナ対策案	コロナ禍により集合研修を実施できない場合、資料（「名古屋の防火＆防災」等）の配布、並びに自主防災訓練推進要領動画及び震災シミュレーション訓練動画DVD視聴形式の講習を実施します。				
目標値	新任の自主防災会長と集合講習未受講の自主防災会長の受講を目指します。（名東区内全203自主防災会長）	予算額	—		
前年度実績	100名（うち新任の自主防災会長59名）の自主防災会長を対象として実施	決算額	—	目標達成状況	C
前年度目標値	新任の自主防災会長（96名）と集合講習未受講の自主防災会長の受講を目指します。（名東区内全203自主防災会長）				

事業名	指定避難所運営訓練・リーダー研修の実施	担当課	総務課		
目 的	（指定避難所運営訓練） 災害時、地域住民主体での避難所運営ができるようにするため、実施します。 （リーダー研修） 指定避難所運営の実践的な知識とスキルを持ったリーダーを各学区ごとに養成するため、実施します。	区 分	継続		
取組内容	（指定避難所運営訓練） 例年、1小学校区を対象として、住民を対象に、避難所の実践的な運営ノウハウや避難生活において必要となる知識や心構えを習得するため、指定避難所運営マニュアルの班編成と役割に基づいた実践的な訓練を実施しています。 （リーダー研修） 区政協力委員等の地域のリーダーを対象として、実際に災害が発生した場合に適切かつ迅速に対応できるようにするための研修を実施しています。				
コロナ対策案	「市が主催する催物（イベント等）に係るガイドライン」に従って適切な感染防止策を講じたうえで実施します。				
目標値	・指定避難所運営訓練の実施 1回 ・指定避難所運営リーダー研修の実施 1回	予算額	—		
前年度実績	・指定避難所運営訓練の実施 1回 ・指定避難所運営リーダー研修の実施 1回	決算額	—	目標達成状況	A
前年度目標値	・指定避難所運営訓練の実施 1回 ・指定避難所運営リーダー研修の実施 1回				

事業名	総合水防訓練	担当課	総務課		
目 的	「自助」、「共助」及び「公助」の理念を念頭に置き、市民、防災関係機関、事業者及び市が、防災意識の高揚及び各種防災対策の推進を図るため、実施します。	区 分	継続		
取組内容	毎年度1中学校区の区民を対象として実施しています。 区役所・消防署をはじめとする区内防災関係機関が連携し、住民に対して「自助」「共助」の向上に資する訓練を行っています。水防工法訓練や水害時の避難に関する講習、避難所運営訓練も実施しています。				
コロナ対策案	「市が主催する催物（イベント等）に係るガイドライン」に従って適切な感染防止策を講じたうえで実施します。				
目標値	「役立った」と回答する参加者の割合 90%	予算額	—		
前年度実績	関係機関による訓練実施（新型コロナウイルス対策として、住民参加型は延期）	決算額	—	目標達成状況	D
前年度目標値	「役立った」と回答する参加者の割合 90%				

事業名	めいとう総合見守り支援事業	担当課	総務課			
目 的	行政と地域が一体となって、要支援者に対して、日ごろの見守りと災害時の支援を適切に行うため、実施します。	区 分	継続			
取組内容	名東区独自の取り組みとして、高齢者等の災害時に支援が必要な方々（要支援者）の中で地域への情報提供に同意された方の名簿を作成し、区政協力委員や民生委員等が、その名簿を基に、要支援者に対して、日ごろからさりげない気づかいにより、安全に生活されているかどうかの見守りを行うほか、災害時には安否確認や避難支援を行います。					
コロナ対策案	「市が主催する催物（イベント等）に係るガイドライン」に従って適切な感染防止策を講じたうえで実施します。					
目標値	避難行動要支援者に配慮した訓練の実施 17学区		予算額	550 千円		
前年度実績	避難行動要支援者に配慮した訓練の実施 15学区		決算額	470千円	目標達成状況	A
前年度目標値	避難行動要支援者に配慮した訓練の実施 15学区					

事業名	初動対応訓練	担当課	総務課		
目 的	大規模災害時において区職員が適切な初動対応をとることができるようにするため、実施します。	区 分	継続		
取組内容	災害発生時を想定した参集情報の記録や応援職員の受け入れ、通信連絡手段の確保、避難所派遣計画の決定や派遣時の準備、区本部の立上げ等について訓練を実施します。				
コロナ対策案	「市が主催する催物（イベント等）に係るガイドライン」に従って適切な感染防止策を講じたうえで実施します。				
目標値	初動対応訓練の実施 2回		予算額	—	
前年度実績	初動対応訓練の実施 2回	決算額	—	目標達成状況	A
前年度目標値	初動対応訓練の実施 2回				

事業名	防災調整会議	担当課	総務課		
目 的	防災関係機関等相互の連携体制を強化することにより、区内の防災対応力の向上を図るため実施します。	区 分	継続		
取組内容	区の防災に関連するさまざまな関係機関や民間企業などが相互に情報共有し、災害時にお互いの役割などを確認し、連携体制と機能強化を図るために、区防災調整会議を開催します。				
コロナ対策案	「市が主催する催物（イベント等）に係るガイドライン」に従って適切な感染防止策を講じたうえで実施します。				
目標値	防災調整会議の開催 3回	予算額	—		
前年度実績	防災調整会議の開催 3回	決算額	—	目標達成 状況	A
前年度目標値	防災調整会議の開催 3回				

(2) 犯罪や交通事故がなく、安心して安全な地域づくりを進めます

事業名	A（あんしん）・A（あんぜん）ひろば ～防犯・交通安全～			担当課	地域力推進室
目 的	子どもが巻き込まれる犯罪や事故が社会問題となる中、名東区は他区と比べても子育て世代が多いことから、行政・事業者等が連携して子どもの安心・安全を確保していくことを目的に、実施します。			区 分	継続
取組内容	11月の名東区まちづくり月間に、警察や区役所、事業者等が連携して「子どものあんしん・あんぜんを考える」をテーマに参加型の啓発イベントを実施します。防犯や交通安全などについて、地域、学校の実情や社会情勢等をふまえて実施内容や開催場所を決定し、中学校区を順にキャラバンします。 また、区として「あんしん・あんぜん道場」をブース出展し、効果的な啓発に努めます。				
コロナ対策案	コロナ禍においては、分散開催により参加人数を調整するなど、コロナ対策を講じて実施します。 代替策としては、情報コーナー等を活用し「あんしん・あんぜん道場」を単独実施します。				
目標値	あんしん・あんぜん道場への参加者 200人			予算額	442 千円
前年度実績	「あんしん・あんぜん道場」入門編と修行編を代替事業として実施（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）			決算額	255千円
前年度目標値	スタンプラリー参加者200人				
				目標達成状況	D

事業名	交通事故のないまちづくりの推進			担当課	地域力推進室	
目 的	交通安全運動期間の街頭啓発活動や子ども・高齢者向けの交通安全教育を行うことで、交通事故のない、安心して暮らせるまちづくりを進めるため、実施します。			区 分	継続	
取組内容	毎月10日・20日・30日の「交通事故死ゼロの日」や春・夏・秋・年末の「交通安全市民運動」の期間を中心に、警察署の協力のもと地域や事業者の方々と一緒に区内各地で街頭啓発活動や各種キャンペーンなどを実施し、交通事故のないまちづくりを推進します。また、区内の幼稚園・保育園や小学校で子ども向けの交通安全教育を実施するほか、ふれあい給食会などの機会を活用して高齢者向けの交通安全教育を実施します。					
コロナ対策案	紙媒体やデジタル媒体を活用するほか、感染状況に合わせた啓発方法で実施します。					
目標値	キャンペーン等啓発活動の実施回数 40回				予算額	—
前年度実績	キャンペーン等啓発活動の実施回数 40回			決算額	—	目標達成状況
前年度目標値	キャンペーン等啓発活動の実施回数 40回					
						A

事業名	地域の防犯力の向上	担当課	地域力推進室		
目 的	特殊詐欺や住宅対象侵入盗、車上狙いなどの犯罪による被害を防ぎ、犯罪のない、安心して暮らせるまちづくりを進めるため、実施します。	区 分	継続		
取組内容	特殊詐欺や住宅対象侵入盗、車上狙いなどの犯罪発生状況を踏まえて防犯区民教室を開催するほか、毎月15日の「名東区防犯の日」に学区各種団体・名東区防犯協会連合会・名東警察署と協働で防犯講話や防犯キャンペーンを実施します。また、小中学生への啓発を重点的に行うため、防犯学習講座を警察署と協働で実施するほか、小学生向けの防犯啓発動画紹介事業を実施します。				
コロナ対策案	紙媒体やデジタル媒体を活用するほか、感染状況に合わせた啓発方法で実施します。				
目標値	キャンペーン等啓発活動の実施回数 28回 防犯啓発動画の小学生認知度 50%		予算額	55千円	
前年度実績	キャンペーン等啓発活動の実施回数 35回	決算額	275千円	目標達成状況	A
前年度目標値	キャンペーン等啓発活動の実施回数 28回				

令和4年度区政運営方針事業シート

将来像 4

きれいがひろがる 快適な環境のまち

1 めざす姿

- (1) 自然環境に対して親しみと魅力を感じられ、ルールやマナーが守られた快適な生活環境が確保されている
- (2) 区民一人ひとりが地球にやさしい環境配慮行動を実践し、低炭素なライフスタイルが普及したまちで快適に暮らしている

2 施策の柱

- (1) 身近な自然に親しむ環境をつくれます
- (2) 快適な生活環境づくりを進めます
- (3) 次世代につなぐ環境に配慮した暮らしを推進します

3 将来ビジョンに掲げる成果指標の進捗状況

指 標	ビジョン 策定時の値	令和3年度	目標値 令和5年度	進捗状況
区内の3大緑地（猪高緑地、牧野ヶ池緑地、明德公園）に親しんだことがある区民の割合	66.1%	71.9%	70%	☆☆☆☆
ルールやマナーが守られ、快適な暮らしができていると感じる区民の割合	79.8%	87.3%	85%	☆☆☆☆
日々の省エネに常に取り組む区民の割合	44.9%	48.4%	50%	☆☆☆☆

4 区政運営方針に掲載している事業の目標達成状況

施 策	目標達成状況				
	A	B	C	D	合計
(1) 身近な自然に親しむ環境をつくれます	3	0	1	0	4
(2) 快適な生活環境づくりを進めます	3	1	0	2	6
(3) 次世代につなぐ環境に配慮した暮らしを推進します	2	0	0	2	4
合 計	8	1	1	4	14

(1) 身近な自然に親しむ環境をつくります

事業名	メイトウ魅力発信3事業～緑地～ 『緑地フォトコンテスト』			担当課	地域力推進室
目的	緑地にあまりなじみのない方が緑地を訪れるきっかけとなる野外イベントや、SNS等を利用したフォトコンテストの開催により、緑地に親しむ区民の方を増やすため、実施します。			区分	継続
取組内容	区内の緑地の魅力を伝える写真を、Instagramの名東区緑地フォトコンテストアカウントに投稿していただく緑地フォトコンテストを実施します。期間中に投稿いただいた写真の中から優秀作品を選定後、庁舎内等で機会をとらえて展示するとともに、優秀作品を採用したフォトカレンダー等を制作し、希望者に配布することで、名東区で感じられる自然の魅力を皆さまに伝えます。				
コロナ対策案	予定通り実施します。				
目標値	フォトコンテスト投稿数(写真枚数) 450			予算額	169 千円
前年度実績	フォトコンテスト投稿数：438	決算額	55千円	目標達成状況	A
前年度目標値	フォトコンテスト投稿数（写真枚数）：450				

事業名	自然散策会			担当課	地域力推進室
目的	平成22年度までの「自然散策サポート事業」で育成したガイドボランティアと連携して、参加者の皆さまに名東区の豊かな自然にふれていただくために、実施します。			区分	継続
取組内容	ガイドボランティアによる案内により、参加者の皆さまに植物や生き物の生態を学んでいただきながら、名東区の緑豊かな自然の魅力をより身近に感じていただく自然散策会を、季節の見どころや時期を考慮して、猪高緑地、明德公園、牧野ヶ池緑地でそれぞれ2回ずつ年間計6回開催します。各自然散策会においては季節の見どころをテーマに設定し、ミニゲームや昆虫の観察など、子どもからお年寄りまで楽しめる企画を盛り込みます。また、SDGs(持続可能な開発目標)の普及啓発や三大緑地のパネル展示を行います。				
コロナ対策案	参加者の把握等、コロナ対策を講じて実施します。				
目標値	自然散策会(年6回)参加者数 200人			予算額	100 千円
前年度実績	令和3年度自然散策会（年4回） 参加者数：延べ221人 ※第3・6回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	決算額	100千円	目標達成状況	A
前年度目標値	自然散策会(年6回)参加者数：延べ200人				

事業名	なでしこKADAN		担当課	名東土木事務所		
目 的	名東区内では「東山グリーンウェイ事業」を始めとして、花を使ったまちづくり活動が活発です。ナデシコを植えて育てる活動を通じ、区の花「ナデシコ」のPRと地域コミュニティの活性化を図ります。		区 分	継続		
取組内容	コミュニティセンターや公園の花壇やプランターを利用し、意欲のある区民や市民活動団体等に名東区の花「ナデシコ」を植えて育ててもらい、花や緑の連続した、華やかさやうまいのある区の景観をつくります。また、花を植えて育てる活動への参加を通して地域コミュニティの活性化を図り、名東区の特徴を出した統一感のある美しい街並みづくりを推進します。					
コロナ対策案	区民を集めて開催する事業ではないため、それぞれの植え付けか所で、各自が感染症対策を行ったうえ実施していただきます。					
目標値	「なでしこKADAN」の設置数 45か所			予算額	382千円	
前年度実績	「なでしこKADAN」の設置数 49か所		決算額	381千円	目標達成状況	A
前年度目標値	「なでしこKADAN」の設置数 45か所					

事業名	猪高緑地の森づくり		担当課	名東土木事務所		
目 的	市民活動団体と土木事務所とが協働して計画的な森づくりを進めます。また一般市民対象のイベントを内容にふさわしい時期を選んで開催し、市民との交流の推進と、猪高緑地の魅力発信を図ります。		区 分	継続		
取組内容	緑のパートナーである「名東自然倶楽部」との協働で通年の樹林地管理、春から秋にかけて棚田の運営管理を行うとともに、市民参加を募り、竹林管理体験会や自然体験会等のイベントを開催します。 4月 竹林管理体験会 7月 自然体験会 11月 竹刈り体験会					
コロナ対策案	コロナの場合も、屋外でのイベントのため、参加者の健康管理を行ったうえ、参加者同士の間隔を確保し、用具の消毒等を行い実施する予定です。					
目標値	竹林管理体験会などの応募者 延べ240人			予算額	—	
前年度実績	竹林管理体験会などの応募者 延べ190人 (新型コロナウイルス対策として参加者数を制限し実施)		決算額	—	目標達成状況	C
前年度目標値	竹林管理体験会などの応募者 延べ240人					

(2) 快適な生活環境づくりを進めます

事業名	路上禁煙の推進	担当課	環境事業所		
目 的	路上禁煙対策を通して、市民・事業所との協働により、安心、安全で快適に暮らせるまちを実現するため、実施します。	区 分	継続		
取組内容	●専任の路上禁煙等指導員によるパトロールを実施します。 ●藤が丘周辺の路上禁煙地区で、区民と協働して啓発活動を行います。 ●区内のイベントやキャンペーンにおいて広報に努めます。				
コロナ対策案	※コロナ禍における事業代替案として、非接触、非対面の指導・啓発方法である清掃指導車による路上禁煙指導・啓発アナウンス等を行います。				
目標値	路上禁煙地区における啓発活動の実施回数 3回		予算額	—	
前年度実績	1回 代替事業（清掃指導車による路上禁煙指導・啓発アナウンス等）2回	決算額	—	目標達成状況	D
前年度目標値	路上禁煙地区における啓発活動の実施回数 3回				

事業名	清掃活動団体の活動支援		担当課	地域力推進室、土木事務所	
目 的	地域住民とともに香流川や植田川の清掃を行っている清掃活動団体を支援することで、区民が住みやすい快適な生活環境づくりを進めるため、実施します。		区 分	継続	
取組内容	「香流川を守る会」の主催で、毎年10月に香流川流域の引山学区、香流学区の住民や事業者等が参加して実施される清掃活動を支援します。また、清掃活動団体間の交流を支援するため、交流会を実施します。 「植田川クリーンサークル」の主催で、毎年11月に植田川流域の高針学区、名東学区、貴船学区の住民や事業者等が参加して実施される清掃活動を支援します。				
コロナ対策案	主催者の判断のもと、コロナ禍における事業実施を支援します。				
目標値	清掃活動支援2回、交流活動支援1回			予算額	—
前年度実績	清掃活動支援2回、交流活動支援1回	決算額	—	目標達成状況	A
前年度目標値	清掃活動支援2回、交流活動支援1回				

事業名	空地・空家の適切な管理の推進	担当課	地域力推進室、環境薬務室、環境事業所、土木事務所、消防署		
目 的	空地の除草や空家の適切な管理を所有者に促すことで、ゴミの不法投棄や害虫の発生、保安上の危険性を取り除き、快適な住環境を維持するため、実施します。	区 分	継続		
取組内容	雑草が繁茂したまま放置されている空地や保安上危険であったり、衛生上有害な空家について、所有者に対して適正な管理をしていただくよう依頼、指導します。				
コロナ対策案	予定通り実施します。				
目標値	除草・清掃依頼後の実施率 70%		予算額	37 千円	
前年度実績	除草・清掃依頼後の実施率 83.4%	決算額	33千円	目標達成状況	A
前年度目標値	除草・清掃依頼後の実施率 70%				

事業名	放置自転車の追放		担当課	地域力推進室、土木事務所	
目 的	駅やバスターミナル周辺の放置自転車をなくすことで、歩道等の通行を確保するとともに、美しい景観を維持するために、実施します。		区 分	継続	
取組内容	地域の方や関係団体と協力して、藤が丘、本郷、上社、一社、猪子石原、引山地区において、「放置自転車追放キャンペーン」を実施し、歩道等の通行の確保や美しい景観を維持するとともに自転車の適正な利用やマナーの向上を呼び掛けます。特に藤が丘地区は他の地区と比べ放置自転車の数が突出しているため、地域や関係公所と連携して対策強化に取り組みます。				
コロナ対策案	手渡しによる啓発方法から目や耳に訴える啓発方法に変更するほか、紙媒体やデジタル媒体を活用する等、コロナ対策を講じて実施します。				
目標値	キャンペーン・啓発活動の実施回数 14回			予算額	—
前年度実績	キャンペーン・啓発活動の実施回数 13回	決算額	—	目標達成状況	B
前年度目標値	キャンペーン・啓発活動の実施回数 14回				

事業名	おさんぽマイスター宣言			担当課	健康安全課		
目 的	ペットによる迷惑防止対策及び飼主等に対する啓発活動の一環として、飼主自らがマナーを遵守し他の模範となることを目指します。			区 分	継続		
取組内容	飼主に宣言書（愛犬を必ず引き綱でつなぎ制御すること。散歩中に排せつさせないしつけをし、散歩中にしてしまった場合はフンの持ち帰りを行うこと等）を記載してもらい、おさんぽマイスターとして活動してもらうことで、個人のマナー意識に働きかけます。						
コロナ対策案	飼主のマナー向上には継続的な呼びかけが必要です。そのため、コロナ禍においても積極的な啓発を行います。						
目標値	宣言書 50枚			予算額	127 千円		
前年度実績	宣言書 42枚 (新型コロナウイルス感染症の影響で来庁者が減少したため)			決算額	140千円	目標達成 状況	D
前年度目標値	宣言書 100枚						

事業名	マナーつながる黄色い輪活動		担当課	健康安全課	
目 的	ペットによる迷惑防止対策及び飼主等に対する啓発活動の一環として、放置されたフンにイエローチョークで丸を付けることにより飼主のマナー意識に働きかけ、ペットと共生する快適なまちづくりの実現を目指します。		区 分	継続	
取組内容	犬のフン害でお困りの方に、保健センターでイエローチョーク作戦の実施方法を紹介し、チョーク及び腕章をお渡しします。また、ご希望の方には、看板及びステッカーをお配りします。それによって常習的にフンを放置する飼主の意識に働きかけ、マナーの向上を訴えます。				
コロナ対策案	飼主のマナー向上には継続的な呼びかけが必要です。そのため、コロナ禍における事業実施対策としては、なるべく少人数で実施し密にならないよう注意喚起を行います。				
目標値	活動実施者によるアンケートで、まちをきれいにする風潮を作り、住民の自主的な活動を推進することに「効果がある」・「ほぼ効果がある」と思う割合が57%以上		予算額	142 千円	
前年度実績	活動実施者によるアンケートで、まちをきれいにする風潮を作り、住民の自主的な活動を推進することに「効果がある」・「ほぼ効果がある」と思う割合が90%以上	決算額	158千円	目標達成状況	A
前年度目標値	活動実施者によるアンケートで、まちをきれいにする風潮を作り、住民の自主的な活動を推進することに「効果がある」・「ほぼ効果がある」と思う割合が53%以上				

(3) 次世代につなぐ環境に配慮した暮らしを推進します

事業名	エコフェスタ名東		担当課	公害対策室		
目 的	名東区を拠点として活動する環境活動団体と連携して、次世代を担う子どもたちの環境に対する意識を高め、楽しみながら環境問題を考えるイベント「エコフェスタ名東2022」を開催します。		区 分	継続		
取組内容	名東区で活動する環境団体等によるブース出展を行います。 ○開催予定日：令和4年8月上旬 ○開催場所：区役所講堂、第8会議室など					
コロナ対策案	三密回避など、感染症対策の徹底を図りながら事業の実施をめざします。					
目標値	参加者数 500名			予算額	271千円	
前年度実績	参加者数 460 （新型コロナウイルス感染症対策のため、参加者数を制限して実施）		決算額	261千円	目標達成状況	D
前年度目標値	参加者数 1,500名 （エコフェスタ名東、エコアクションin名東の参加者数の合計）					

事業名	〈区の特性に応じたまちづくり事業〉 名東区環境配慮行動促進事業 (エコアクションin名東)		担当課	公害対策室		
目 的	若い世代を対象に、地球温暖化防止や生物多様性、ごみの削減などの環境問題やSDGsに対する意識を深め、環境をよくするための行動（環境配慮行動）の実践につながるような環境イベントを開催します。		区 分	拡充		
取組内容	○ステージイベント「エコアクションin名東」（開催予定日：令和4年8月上旬） 区民のSDGsへの理解を深め、環境配慮行動を促進するためのステージイベントを実施します。 ○スイレン抜根・水辺の生き物調査 外来スイレンの抜根作業等を通じて、名東区にすむ生き物など生物多様性の大切さを伝えます。 ○緑地でのモバイルスタンプラリー モバイル端末を使ったスタンプラリーを実施し、区内の緑地を訪れるきっかけを作り、多くの区民に緑地の魅力を伝えます。					
コロナ対策案	三密回避など、感染症対策の徹底を図りながら事業の実施をめざします。					
目標値	ステージイベント参加者数 150名 緑地モバイルスタンプラリー参加者 200名			予算額	2,500千円	
前年度実績	参加者数 460 （新型コロナウイルス感染症対策のため、参加者数を制限して実施）		決算額	987千円	目標達成状況	D
前年度目標値	参加者数 1,500名 （エコフェスタ名東、エコアクションin名東の参加者数の合計）					

注) 区の特性に応じたまちづくり事業は、区民の皆さまとともに、区の特性に応じたまちづくりに取り組むための事業です。

事業名	緑のカーテンづくりの普及促進	担当課	公害対策室		
目 的	環境対策・節電効果・環境保全啓発の一環として、緑のカーテンづくり講習会を開催するとともに、区役所等の公共施設において、緑のカーテンづくりを実施します。	区 分	継続		
取組内容	○緑のカーテンづくり講習会の開催 （公財）名古屋市みどりの協会の方を講師に招き、つる性植物（ゴーヤ）の育て方等を講習します。 講習会参加者にはゴーヤの苗を配布し、家庭等で緑のカーテンを設置していただきます。 ○公共施設での緑のカーテンの設置 保健センター及びコミュニティセンターに緑のカーテンを設置します。				
コロナ対策案	三密回避など、感染症対策の徹底を図りながら事業の実施をめざします。				
目標値	講習会の参加者数 30名 コミュニティセンターでの設置数 5か所		予算額	32千円	
前年度実績	講習会の参加者数 30名（苗の配布のみ） コミュニティセンターでの設置数 5か所	決算額	34千円	目標達成状況	A
前年度目標値	講習会の参加者数 30名 コミュニティセンターでの設置数 5か所				

事業名	ごみ減量の推進		担当課	環境事業所	
目 的	ごみ・資源の分別や3Rに関心を持ってもらい、分別意識の向上や分別の徹底、3Rの取り組みを推進し、さらなるごみ減量につなげるため、実施します。		区 分	継続	
取組内容	●小学校などを対象に出前講座を行い、分別意識の定着をすすめます。 ●事業者を対象に、事業系ごみの適正排出にかかる指導を行います。 ●年度替わりの3月から4月に区役所内にごみ案内所を開設します。 ●年度末から年度初めを中心に、名東区、近隣市にキャンパスがある大学、専門学校にごみ・資源の分別に関するパンフレットやチラシを配架し、分別方法の周知・啓発を行います。				
コロナ対策案	※コロナ禍における事業代替案として、非接触、非対面の指導・啓発方法である清掃指導車による分別指導・啓発アナウンス等を行います。				
目標値	小学校などでの出前講座の実施回数 5回 事業系ごみの排出指導件数 20件			予算額	—
前年度実績	小学校などでの出前講座の実施回数 8回 事業系ごみの排出指導件数 15件	決算額	—	目標達成状況	A
前年度目標値	小学校などでの出前講座の実施回数 5回 事業系ごみの排出指導件数 20件				

令和4年度区政運営方針事業シート

将来像 5 笑顔がひろがる 魅力と交流のまち

1 めざす姿

- (1) 住んでいるまちに誇りと愛着をもち、主体的にまちづくりに参加し、にぎわいと魅力にあふれている

2 施策の柱

- (1) まちの魅力資源を活かし、にぎわいと交流のあるまちづくりを進めます
 (2) 生涯を通してスポーツや文化・芸術活動に親しむまちづくりを進めます
 (3) 区民が主体となり、多様な協働・連携を進めるまちづくりに取り組みます

3 将来ビジョンに掲げる成果指標の進捗状況

指 標	ビジョン 策定時の値	令和3年度	目標値 令和5年度	進捗状況
まちに魅力を感じ、住み続けたいと思う区民の割合	73.9%	91.4% (参考値)	80%	☆☆☆☆
地域活動に参加したことがある区民の割合	43.6%	27.0%	50%	☆

※「参考値」とは、ビジョン策定時とは異なる調査手法による値です。

4 区政運営方針に掲載している事業の目標達成状況

施 策	目標達成状況				
	A	B	C	D	合計
(1) まちの魅力資源を活かし、にぎわいと交流のあるまちづくりを進めます	2	1	0	3	6
(2) 生涯を通してスポーツや文化・芸術活動に親しむまちづくりを進めます	0	0	0	3	3
(3) 区民が主体となり、多様な協働・連携を進めるまちづくりに取り組みます	1	0	0	0	1
合 計	3	1	0	6	10

(1) まちの魅力資源を活かし、にぎわいと交流のあるまちづくりを進めます

事業名	〈区の特性に応じたまちづくり事業〉 メイトウ魅力発信3事業～音楽・芸術～ 『ウェルカム名東転入者応援事業 第5弾』		担当課	地域力推進室		
目 的	名東区を中心に活動する音楽・芸術活動団体等の協力を得て、区への愛着を一層高めていただくとともに、子どもたちの豊かな感性を育むために、実施します。		区 分	継続		
取組内容	名東区に転入して日が浅い方が多いと考えられる子育て世代の親子を対象として、名東区を本拠地として全国規模で活躍するプロの劇団と連携して、シティプロモーションの要素を含む区の魅力発信動画を作成するとともに、動画を活用した芝居仕立てのオリジナル謎解きイベントを実施します。区内外の方に、本事業をきっかけに名東区に親しみと、より一層の愛着をもっていただき、親子ともに「いつまでも住み続けたい名東区」と思っただけの事業を展開します。					
コロナ対策案	イベント参加者人数の調整、参加者の把握等、コロナ対策を講じて実施します					
目標値	来場者から「よかった」と回答いただいた割合 80%			予算額	1,200千円	
前年度実績	(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)		決算額	719千円	目標達成状況	D
前年度目標値	来場者から「よかった」と回答いただいた割合 80%					

注) 区の特性に応じたまちづくり事業は、区民の皆さまとともに、区の特性に応じたまちづくりに取り組むための事業です。

事業名	メイトウ魅力発信3事業～歴史的資源～ 『謎解きでときめけ！高針縁結び』		担当課	地域力推進室	
目 的	将来の子育て家庭を増やすために若い男女の出会いの機会を提供するとともに、国の登録有形文化財である蓮教寺や周辺地域の歴史や魅力に触れていただき、若者世代への魅力発信を図るため、実施します。		区 分	継続	
取組内容	20～30代の独身の方を対象に蓮教寺を会場とした婚活イベントを実施します。男女混成のグループごとに謎解きに取り組むことによって参加者同士の協力や交流を図ります。 また、蓮教寺住職からのお話に謎解きのヒントを盛り込んだり、境内を散策していただくなど、参加者が謎解きに取り組むことで国の登録有形文化財である蓮教寺や周辺地域の歴史や魅力への理解を深めていただけるよう工夫します。				
コロナ対策案	イベント参加者人数の調整、参加者の把握等、コロナ対策を講じて実施します。				
目標値	来場者から「蓮教寺や周辺地域の歴史や魅力への理解が深まった」と回答いただいた割合 80%		予算額	380 千円	
前年度実績	(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)		決算額	－	目標達成状況
前年度目標値	来場者から「蓮教寺や周辺地域の歴史や魅力への理解が深まった」と回答いただいた割合 80%				
					D

事業名	区の花「ナデシコ」のPR推進		担当課	地域力推進室	
目 的	区の花「ナデシコ」の認知度を高め、愛着を持っていた だけるよう、地域力推進室・土木事務所・社会福祉協議 会で連携して区の花「ナデシコ」のPRを推進するた めに、実施します。		区 分	継続	
取組内容	○「花をみんなで育てる」ことで地域のふれあい・交流を深めることができるよう、区民の皆さ まの花づくり活動を支援するとともに、様々な交流事業や区役所関連事業と連携してナデシコを PRします。 ○公園や歩道等の花壇やプランターを利用し、意欲のある区民や市民活動団体等に名東区の花 「ナデシコ」を植えて育ててもらい、ナデシコに愛着を持っていただくとともに、華やかさやうる おいのある区の景観をつくります。また、花を植え育てる活動への参加を通して地域コミュニ ティの活性化を図り、名東区の特色を出した統一感のある美しい街並みづくりを推進します。 （再掲 「なでしこKADAN」）				
コロナ対策案	予定通り実施します。				
目標値	「なでしこKADAN」の設置数 45か所（再掲） 花づくり活動支援学区・団体数 5学区・団体			予算額	—
前年度実績	「なでしこKADAN」の設置数 49か所（再掲） 花づくり活動支援学区・団体数4学区・団体	決算額	44千円	目標達成 状況	B
前年度目標値	「なでしこKADAN」の設置数 45か所（再掲） 花づくり活動支援学区・団体数 5学区・団体				

事業名	名東の日・区民まつり		担当課	地域力推進室		
目 的	5月7～13日の名東ウィークに、各種団体・事業者の参加による区内一円イベントの開催を通じて、区民相互のふれあい・交流を図るとともに 区の個性・活力を広く発信するために、実施します。		区 分	継続		
取組内容	(1) 名東区民まつり 地域の力を結集して企画し、ダンスや演奏等によるステージ、物販・展示・アトラクションによるブースイベント等を実施します。 開催場所：牧野ヶ池緑地 (2) 区内一円イベント 事業者による協賛セールや、地域で活躍する団体による趣向を凝らしたイベントを実施します。 ・「510（メイトオ）」にちなんだ510円セールや510円メニュー ・「見る！遊ぶ！体験する！」をテーマとした各種の参加型イベント ・事業者等から提供いただいた賞品が当たるスタンプラリー など					
コロナ対策案	ガイドラインに沿ったコロナ対策を講じて実施します。また、区内一円イベントなど人が集まらなくとも開催できるイベントを行います。					
目標値	来場者から「楽しかった」と回答いただいた割合 95%以上		予算額	4,510千円		
前年度実績	(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)		決算額	159千円	目標達成状況	D
前年度目標値	来場者から「楽しかった」と回答いただいた割合95%以上					

事業名	地域イベント盛り上げ支援		担当課	地域力推進室		
目 的	専門的な技術・技能を持った「イベントサポーター」を学区に派遣したり、桜まつりへの参加を通じて、区民の交流促進につながる地域イベントをより活性化するため、実施します。		区 分	継続		
取組内容	学区主催の盆踊り、運動会、敬老会、成人式等の地域イベントが一層盛り上がり、活発化するように、学区からの求めに応じてサポーターを派遣します。 【派遣イベントサポーターの内容】吹奏楽コンサート・落語・大道芸など また、藤が丘および香流川の桜並木の魅力を発信し、区民の交流を促進するため、商店街や地域団体が開催する桜まつりに参加して盛り上げをお手伝いします。					
コロナ対策案	コロナ対策を講じたイベントに派遣するとともに、イベントサポーターの体調管理の把握等を行います。					
目標値	「盛り上げに効果があった」と回答する派遣学区の割合 90%			予算額	108 千円	
前年度実績	「盛り上げに効果があった」と回答する派遣学区の割合：100%		決算額	38千円	目標達成状況	A
前年度目標値	「盛り上げに効果があった」と回答する派遣学区の割合：90%					

事業名	メイトウ情報チャンネル		担当課	地域力推進室	
目 的	広報なごやや啓発チラシの紙面だけでは伝えきれない情報を動画交えて紹介することで、より多くの情報を区民に伝えるため、実施します。		区 分	継続	
取組内容	広報なごやや啓発チラシだけでは伝えにくい情報を動画を使って広報します。制作した動画は、区公式Twitterや市公式Youtubeで放映するほか、二次元コードを広報なごやに掲載して相乗効果を図ります。				
コロナ対策案	予定通り実施します。				
目標値	放映動画本数 5本			予算額	—
前年度実績	放映動画本数 10本	決算額	—	目標達成状況	A
前年度目標値	放映動画本数 5本				

(2) 生涯を通してスポーツや文化・芸術活動に親しむまちづくりを進めます

事業名	スポーツの振興		担当課	地域力推進室	
目 的	地域スポーツ団体と協力し、多彩なスポーツ大会・教室等を開催することで、スポーツに興味を持ち、日常的にスポーツに親しむ区民の裾野を広げ、「つながり」の創出を図る事業を実施します。		区 分	継続	
取組内容	地域スポーツ団体などと協力し、ソフトボール、レクバレー、レクインディアカを始めとする多彩なスポーツ大会・教室、ニュースポーツを取り入れた事業などを開催します。また、「ジョギング・ウォーキング大会」について再開します。 ※各種スポーツ大会・教室… 通年で12種目、18の大会、2の教室を開催。 ※ニュースポーツ…だれでも手軽に楽しめ、競うより楽しむことを重視したスポーツ。				
コロナ対策案	新型コロナウイルス感染防止対策を施して実施可能な競技・教室について実施します。				
目標値	ジョギング・ウォーキング大会(11月) 参加申込者 1,500人		予算額	—	
前年度実績	ジョギング・ウォーキング大会を中止 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)		決算額	—	目標達成状況
前年度目標値	ジョギング・ウォーキング大会(11月) 参加申込者 1,500人				
					D

事業名	若い世代の文化・芸術活動応援事業		担当課	地域力推進室	
目 的	若い世代の文化・芸術活動への興味・関心を高めることで、活動への参加を通じて、区民相互のふれあい・交流を図る事業を実施します。		区 分	継続	
取組内容	舞台発表の場である「総合芸術・芸能祭」、展示作品の発表の場である「区民美術展」において、区内の大学や高校にチラシを配布するなど若者の出場（出品）を促し、若い世代が文化・芸術に触れ、活動に参加するきっかけをつくります。 ※総合芸術・芸能祭…文化協会、区役所等主催の舞台芸術の発表の場。 民謡・詩吟・箏曲・舞踊・バレエ等の分野からなり、例年5月に開催。 ※区民美術展…名古屋市、区役所、文化協会主催の展示作品の発表の場。 日本画・洋画・書・彫刻、工芸・写真の分野からなり、例年10月に開催。				
コロナ対策案	新型コロナウイルス感染防止対策として区民美術展をオンライン開催します。				
目標値	総合芸術・芸能祭 - 若い世代の出場 5組 区民美術展 - 若い世代の出品 20点		予算額	—	
前年度実績	総合芸術・芸能祭、区民美術展ともに中止 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)		決算額	—	目標達成 状況
前年度目標値	総合芸術・芸能祭 - 若い世代の出場 5組 区民美術展 - 若い世代の出品 20点				
					D

事業名	文化芸術活動の促進	担当課	地域力推進室		
目 的	文化芸術団体の協力を得ながら、幅広い世代の区民が気軽に文化・芸術を楽しむことのできる環境をつくるとともに、文化・芸術活動の振興を図る事業を実施します。	区 分	継続		
取組内容	文化芸術団体と協力して、区民美術展、いけばな展やコーラス交歓会、ファミリーコンサートを開催します。 区民美術展を、若者の参加を増やすなど、より一層魅力的な作品展にします。 ※区 民 美 術 展 名古屋市、区役所、文化協会主催の展示作品の発表の場。 日本画・洋画・書・彫刻、工芸・写真の分野からなり、例年10月に開催。 ※い け ば な 展 名東区華道協会の展示作品の発表の場。例年、春（4月）・秋（10月）に開催。 ※コーラス交歓会 名東区コーラス交歓会主催の舞台芸術の発表の場。学区PTA等が出演し例年2月に開催。 ※ファミリーコンサート 名東のうた「わがまち名東」の他、大人も子どもも一緒に楽しめる曲目によるコンサート。例年8月に開催。				
コロナ対策案	新型コロナウイルス感染症対策を施して実施可能なイベントについて実施します。				
目標値	区民美術展 出品数 150点、来場者 400人		予算額	—	
前年度実績	区民美術展を中止 （新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）		決算額	—	目標達成 状況
前年度目標値	区民美術展 出品数 150点、来場者 400人				
					D

(3) 区民が主体となり、多様な協働・連携を進めるまちづくりに取り組みます

事業名	地域コミュニティ活性化の支援			担当課	地域力推進室
目的	地域で効果を上げている活動やコミュニティづくりについて共有、情報交換できる場を提供することで、地域コミュニティを活性化するために、実施します。			区分	継続
取組内容	転入者をはじめ新たな人材が地域活動や自治会活動に関わっていただけるように、実際に地域で取り組まれて効果をあげている活動やコミュニティづくりについて「つながる・ひろがる交流会」や「コミュニティ交流会」で情報交換を行うほか、学区紹介チラシ等を活用して情報を発信します。 また、コロナ禍で自治会活動が見づらくなっているため、広報なごや名東区版で自治会活動を広く伝えます。				
コロナ対策案	参加人数を調整するほか、紙媒体やデジタル媒体を活用する等、コロナ対策を講じて実施します。				
目標値	つながる・ひろがる交流会 3回、コミュニティ交流会 1回 自治会の活動紹介（広報なごや名東区版） 1回			予算額	—
前年度実績	つながる・ひろがる交流会 3回 コミュニティ交流会 1回	決算額	—	目標達成状況	A
前年度目標値	つながる・ひろがる交流会 3回 コミュニティ交流会 1回				

事業名	なでしこパートナーシップ事業			担当課	企画経理室
目的	地域活動団体・企業等の多様な主体が協働・連携し、地域課題に取り組む仕組みづくりを進めるとともに地域の活性化を図るため、実施します。			区分	継続
取組内容	〇まちづくり、子育て・介護等の地域課題にパートナーシップ事業者との協働・連携により取り組みます。 〇パートナーシップ事業者との定期的な協議の場を通じて、地域課題の現状を共有を図るとともに、随時、取り組み内容を更新していきます。 〇活動内容・実績等をの情報を区ウェブサイトに掲載し、新規パートナーシップ登録団体を募集します。				
コロナ対策案	予定通り実施します。				
目標値	登録団体（事業者）数 3			予算額	—
前年度実績	—	決算額	—	目標達成状況	—
前年度目標値	—				

令和4年度区政運営方針事業シート

区役所づくり

親しまれ信頼される 区役所をめざして

1 めざす姿

- (1) 区役所が身近に感じられ、区民の立場に立ったサービスが提供されている
- (2) 区民が知りたい情報がわかりやすく効果的に提供されている

2 施策の柱

- (1) お客様に満足いただけるサービスを提供します
- (2) 区民ニーズを的確に把握し、区政に反映します
- (3) 区民の立場に立ち、よりわかりやすい情報発信・情報提供を進めます

3 将来ビジョンに掲げる成果指標の進捗状況

指 標	ビジョン 策定時の値	令和3年度	目標値 令和5年度	進捗状況
区役所窓口における対応に満足している区民の割合	98.1%	97.3%	100%	☆
区政に関して知りたい情報が十分に得られていると思う区民の割合	59.6%	54.2%	65%	☆

4 区政運営方針に掲載している事業の目標達成状況

施 策	目標達成状況				
	A	B	C	D	合計
(1) お客様に満足いただけるサービスを提供します	1	0	0	0	1
(2) 区民ニーズを的確に把握し、区政に反映します	1	0	0	0	1
(3) 区民の立場に立ち、よりわかりやすい情報発信・情報提供を進めます	1	0	0	0	1
合 計	3	0	0	0	3

(1) お客様に満足いただけるサービスを提供します

事業名	窓口サービスの提供		担当課	総務課		
目 的	区民の皆様に区役所が提供する区民サービスを、より満足していただくため、実施します。		区 分	継続		
取組内容	より良い接遇スキルを身につけるために、全体研修と研修参加者による各課での職場研修を実施し、職員の意識と能力の向上を図ります。そのほか各課のニーズに合わせた課単位の接遇研修もあわせて実施します。 これらの研修を通じて、「正確・迅速・丁寧」なサービスの提供、ニーズにあった的確なサービスの提供、高齢者・障害者・子ども連れの方など配慮が必要な方に対しての適切な対応、個人情報保護の徹底につなげます。					
コロナ対策案	日時を分けて少人数で実施したり、研修資料を配布して各自で研修を行うなど、感染対策を講じて実施します。					
目標値	窓口対応の満足度 99.5%			予算額	300 千円	
前年度実績	窓口対応の満足度 97.3%		決算額	204千円	目標達成状況	A
前年度目標値	窓口対応の満足度 99%					

(2) 区民のニーズを的確に把握し、区政に反映します

事業名	広聴活動	担当課	企画経理室
目的	区民の皆さまのご意見やご要望をお聴きし、区民ニーズを的確に把握するとともに区民の皆さまの意見を反映したまちづくりを進めるため、実施します。	区分	継続
取組内容	○広く区民の皆さまのご意見を伺うため、18歳以上の区民2,000人を対象とした「区民アンケート」や若い世代の意見を聴取する「なでしこアンケート」を実施します。 ○区民の皆さまの区政への参画を推進し、地域課題や区の将来の方向性に関して意見を聴取するため、「区民会議」やワークショップ形式の「区民ミーティング」「学生ミーティング」を実施します。		
コロナ対策案	オンラインミーティングアプリ等を活用し、区政への参画・意見聴取の機会を失わないよう対策を講じます。		
目標値	「区民アンケート」の回収率 46%		予算額 1,449千円
前年度実績	「区民アンケート」の回収率 44%	決算額 804千円	目標達成状況 A
前年度目標値	「区民アンケート」の回収率 45%		

(3) 区民の立場に立ち、よりわかりやすい情報発信・情報提供を進めます

事業名	情報発信・広報	担当課	地域力推進室		
目 的	広報なごや、区ウェブサイトやSNS等各種広報媒体の活用、および公募の「名東ボランティアカメラマン」との連携を通じて、区の情報発信力の向上のため、実施します。	区 分	継続		
取組内容	広報なごや区版・区ウェブサイトにおける、より分かりやすい紙面・ページ作成に加え、SNS、地下鉄駅区役所情報掲示板、地域情報誌等様々な広報媒体の特性をいかした広報を進めるとともに、メイトウ情報チャンネルや二次元コードを利用して各広報媒体をつなぎます。また区民アンケート結果をふまえ、区政情報を十分に得られていると思う割合が他世代と比較して低い若い世代に向けて、Twitterを利用した情報発信を広げます。 公募の「名東ボランティアカメラマン」に撮影していただいた各種イベント等の写真を活用して、より魅力的な情報発信を行います。				
コロナ対策案	イベントが中止になった際などにはSNS等で迅速にその情報を発信し、最新の情報を伝えられるようにするとともに、広報なごやは代替記事を用意し、読みごたえのある紙面づくりに努めます。				
目標値	区ウェブサイトへのアクセス件数 月平均70,000件、 区公式Twitter年間記事数 200件		予算額	—	
前年度実績	区ウェブサイトへのアクセス件数 月平均78,994件(3月末現在)	決算額	—	目標達成状況	A
前年度目標値	区ウェブサイトへのアクセス件数 月平均70,000件				